



謹賀新年  
2009



ガバナー提言  
愛「人類愛・郷土愛・家族愛」

LIONS CLUB FUKUOKA 2R  
No. 106  
2009 WINTER

ライオンズ新春特別対談「変革を目指して～激動の20年を総括する」

LCIF開発プロジェクト・スペシャル・アドバイザー兼  
ナショナル・コーディネーター(地区名誉顧問)

地区名誉顧問会議長(前地区ガバナー)

L. 秦 三郎 × L. 瀧 榮司

同席者 2R・RC L.小松至誠、2R・2Z・ZC L.重松史郎

巻頭言: 2R・2Z・ZC L.重松史郎

特集: 『ブルーフラッグ世界No.1受賞クラブ』の挑戦  
福岡玄海LC L.重松史郎

委員会報告: 『YCE委員会と掛けて“プリンター”と解く…その心は?』  
2R地区YCE委員 L.鹿島紀夫

第2回 2Rライオンズクラブ会員  
1,000名アンケート!

意識調査結果報告!

新入会員紹介!

今回13名入会! (今期累計48名)

平成の2R 国際・日本・複合・  
準地区役員/委員

総覧

1988～  
2009  
SOURAN

A1 size  
特大版

別冊特別付録





contents

巻頭言

2R・2Z・ZC L.重松 史郎 01

ライオンズ新春特別対談

「変革を目指して～激動の20年を総括する」

L.秦 三郎 LCIF開発プロジェクト・スペシャル・アドバイザー兼ナショナル・コーディネーター(地区名誉顧問)

L.瀧 榮司 地区名誉顧問会議長(前地区ガバナー)

同席者 2R・RC L.小松至誠 2R・2Z・ZC L.重松 史郎 02

337-A地区ライオンズクラブ分布図

11

レポート

「地区第1回新会員研修会」

報告者 2R PR・IT・ザラタ編集委員 L.徳永修一郎 12

特集

『ブルーフラッグ世界NO.1受賞クラブ』の挑戦

報告者 福岡玄海LC L.重松 史郎 14

委員会報告

「YCE委員会と掛けて“プリンター”と解く・・・その心は？」

2R地区YCE委員 L.鹿島 紀夫 16

交流ひろば

18

中華民国台北石碑ライオンズクラブを訪ねて

福岡西LC L.長島 信之

18

第21回「いのちの電話・青少年健全育成支援  
チャリティゴルフ大会」取材報告

福岡城東LC L.河野 真

23

「ありがとうございます」  
感謝の気持ちを忘れずに

福岡文化LC L.吉田 昌浩

28

会員増強について思うこと

福岡北LC L.原 経博

18

ライオンズクラブに入会して

福岡誠LC L.許斐 英雄

23

フィッシュ オン

福岡大名LC L.染原浩一郎

29

私とライオンズクラブ

福岡大濠LC L.小松 豊

19

337-A地区 YCE委員長挨拶

福岡玄海LC L.黒木 善弘

24

新しき年に思う

福岡平和LC L.江口太加夫

29

姉妹クラブ合同例会日記

がばいばあちゃんのロケ地を訪ねて

福岡黒田LC L.中村 洋人

19

卓話を行って

福岡シニアLC L.武田 敬子

25

新人です。よろしく願います。

福岡黎明LC L.増田 晃子

30

結成二十周年記念事業

チューリッヒ青年シンフォニーオーケストラ公演開催

福岡桜LC L.原田 則子

20

「福岡花ライオンズクラブに入会して」

福岡花LC L.高田 律子

25

新入会員のご紹介

福岡ベイシティ21LC L.太田 千恵 L.藤村みつゆ

30

今、素直に感じる事・・・

福岡NOZLC L.奥村 剛広

20

1年経って思う事

福岡フィフティール LC L.谷口真由美

26

世界ライオンズ奉仕デー

若杉福岡LC L.藪内アヤ子

31

川の流れるように

福岡博愛LC L.和田 耕司

21

新クラブに入会して

福岡フレンズLC L.村上 久美

26

ライオンズクラブに入会して

壱岐LC L.松尾 輝幸

31

第一回チャリティーボウリング大会

福岡大樹LC L.平井 良明

22

「LCに入会して」

福岡鶴城LC L.森田理枝子

27

「花鶴福岡ライオンズクラブに入会して」

花鶴福岡LC L.姉川さつき

32

みんなの力で事業資金獲得!!

福岡舞鶴LC L.岩本 啓太

22

『福岡赤坂ライオンズクラブに入会して』

福岡赤坂LC L.坂本 優樹

28

たくさんの人との出会い

宗像LC 水田 好美 (08夏期YCE派遣生)

33

第2回 2Rライオンズクラブ会員 1,000名アンケート 意識調査結果報告

34

卓話ゲスト紹介・スケジュール

36

新入会員紹介

38

編集後記

PR・IT・ザラタ編集委員 L.徳永修一郎



## 新春に思う

2R・2Z・ZC L.重松史郎

皆様あけましておめでとうございます。

今期も、はやもう半分が過ぎました。クラブの執行部の皆様方は、いま一息つかれておられる頃だと思います。前年度は、会員の協力で大きな事業目的であった「CSF II」も成果を上げ、目標を達成することが出来ました。取り巻く政治的経済的状况の中で、なんとか努力し頑張りながら、ライオンズの奉仕活動を懸命にやってきたような気がします。その後の余韻を残しながらの今期の半年間でした。しかし、終ってみると皆でやったドネーションが世界中の目の不自由な人達を大勢苦しみから救ったというライオンズらしい達成感も大いに感じられます。

また新年を迎え、これから残りの半期を実りあるライオンズライフにしていきたいものと願っております。会員がお互いに帰属意識を持ちながらライオンズクラブにいてよかったと、気高く誇りを持って行けたら、さらに素晴らしい社会活動の場となっていくものと確信します。これからの未来は、若い会員の皆さんの力で、さらに時代に相応した「変革」をもたらすことも大切だと感じています。クラブ運営についての様々な意見や不満は今や、万国共通の問題だと思います。最近の話題の中心である「会員増強」の問題になると、どの会合でも同じ解決策が議論されます。でも実行できているクラブはなかなかありません。何とか魅力あるクラブ作りに全身全霊をつくして、単一クラブから実践できる道を見いだしていかなければならない時が来ていると思います。魅力あるライオンズクラブにするため、皆で意見を出し合いながら取り組んで実行して行きたいものです。

今年もどうぞよろしくお願い致します。

巻頭言

ライオンズ新春特別対談

## 『変革を目指して〜激動の20年を総括する』

平成二十年十一月十日 福岡市西鉄グランドホテルにて

L 秦 三郎 L C I F 開発プロジェクト・スペシャル・アドバイザー  
兼 ナショナル・コーディネーター (地区名誉顧問)

L 瀧 榮司 地区名誉顧問会議長 (前地区ガバナー)

同席者 2 R・R C L 小松至誠、2 R・2 Z・Z C L 重松史郎

前国際会長 L マヘンドラ・アマラスリアが掲げたテーマは「変化への挑戦」。さらに今年一月二十日に若千四十七歳で米国史上初の黒人大統領に就任するバラク・オバマ氏のスローガンも「世界の変革」だ。今、世界は多くの場面で『変革』の時代に突入したとは言えまいか。そして、その必要性が長く叫ばれている我々ライオンズもいよいよ正念場を迎えているのでないだろうか。

そんな思いを胸に、今回は新春特別対談として、名誉顧問の L 秦三郎と L 瀧榮司にご登場いただいた。お二人は本誌の特別付録「平成の2 R 国際・日本・複合・準地区役員／委員総覧」に於いて、この二十年間の役員／委員経験者の個人別順位でナンバーワンとナンバーツーに輝く地区を代表するライオン。対談では、2 R を中心とする L C の変遷を踏まえ、明日のライオンズについても語っていただいた。真摯で活発な意見交換を聞いて、お二人をはじめとする強力な指導者達が力を合わせる事により、一般会員の意識が高まれば、地区やリジョンの変革も容易であるし、L C 活動の将来にも夢と希望が持てるかと率直に感じました。尚、対談をサポートして下さった L 小松至誠と L 重松史郎に心から感謝の意を表します。ありがとうございました。

〓 同席者は地区 P R ・ I T ・ サラタ編集委員 L 徳永修一郎 (福岡大名 L C)

お二人が L C に入会したきっかけは何でしたか？

皆様方にはお忙しい中お時間を作っていただきましてありがとうございます。本日の対談は、地区を代表するお二人に平成二十年間を一つの区切りとして、リジョン及び地区運営を総括していただくのが目的です。私は過去にない画期的なビッグ対談と思っていますし、元旦号最大の目玉でありますので、どうぞ最後までよろしくお願い申し上げます。お二人を入会順にご紹介させていただきます。L 秦三郎は、地区は言うに及ばず日本レベル、国際レベルでも活躍され、今期は L C I F 開発プロジェクト・スペシャル・アドバイザー兼 ナショナル・コーディネーターに就任されておられます。L 瀧榮司は、地区名誉顧問会議長にして前地区ガバナーでもあり、現在、原キャビネットの後見として活躍なさっております。早速ですが、まずはじめに L C に入会されたきっかけは何でしょうか？ ちなみに L 秦は四十三歳で入会、入会歴は三十五年。L 瀧は四十五歳で入会、入会歴は二十六年です。L 秦からお願いたします。

秦 名誉顧問 皆さんご存知な方も知れませんが、私は若い頃に中尊寺の貫主で大僧正、そして作家で参議院議員の今東光さんの秘書をしておりました。そ



●写真左より 重松 ZC / 秦名誉顧問 / 瀧名誉顧問会議長 / 小松 RC / 徳永 PR 委員

の今東光さんがよく色紙にも書き、話されていたのが、仏教の言葉とありますが、「二隅を照らす」という言葉でした。たまたまLCは「本の灯かり」ですよ。ロータリークラブからも随分誘われましたが、今東光さんから「人への奉仕、尽くすことが大事」と、いやというほど教えられていたこともあり、結局スポンサーとして西クラブの川崎さんと副スポンサーとしてバンドの深見さんに紹介されてライオンズに入会しました。

**瀧名誉顧問会議長** 私は生まれは関東で、ある商社にいましたが、流れ流されて福岡に来ました。そこで、博多に根を下ろすためには地域を知らねば、仕事も出来ないと思っていたら、取引先の銀行の紹介で奉仕団体に入らないかと誘われたんです。私はライオンズについては全く知識が無かったので、「読売」ジャイアンツのファンの私が何でライオンズに入らないといかんですか」と言っただけでしたが、やはり地域とのお付き合いも大切と思い、入会させてもらったわけです。

**LCの魅力とは何でしょうか？ 辞めようと思った事は？**

——お二人とも大変ご立派な動機ですね。私はお二人に「何だか分んなくて入会しました」なんて答えられたらどうしようかと思っていました(笑) 総覧にも記載されておりますように、お二人の役員/委員経験歴は個人の部一位、二位と突出しており、まさに「ライオンズが求める気前の良さ」を如何なく発揮された体現者だと思っております。そこでライオンズに目覚めたきっかけは何だったのでしょうか？また、一言で言い表すとしたらLCの魅力とは何でしょうか？

**秦名誉顧問** 自分が皆と一緒に奉仕ができる。小さな力が大きな力になる事が一番大きな良さではないでしょうか。

**瀧名誉顧問会議長** 私がLCに入会して初めて(ライオンズに)目覚めたのは、まだ福岡中央LCにいた頃、当番幹事として十二月二十五日に西日本新聞会館の前でチャリティー餅つき大会を開いた時です。確か旧4R・2Zの全四クラブの合同だったと思います。今でも覚えていますが、二十四万円位出し合って、千切り餅の売り上げが半分の十二万円でした。その時八歳位の女の子がネスカフェのコーヒー瓶一杯に貯めた一円玉を出してくれたんです。こんな小さい子供でも奉仕の気持ちがある。感動しましたね。今でも忘れません。

重松 Z C いい話ですね。やっぱりえらくなる人は違うね。

**瀧名誉顧問会議長** それで最近、いけないなと思う事はね。二十年前の L C と今の L C のステータスが違うと言う人がいるけど、私は「何がステータスだ!!」と思います。(大切なことは) 心の中で奉仕をしようかどうかであって、今は自分が(経済的に) 苦しいと、他の人の奉仕も抑えにかろうとする人も多い。本当は自分が出来なくても、出来る人に推薦するのが当たり前なのに、うちが厳しいからお前も無理と抑え込む。これでは L C は何も出来ないし、だんだん活動が下火になって行く。それぞれが出来た事をすれば良い訳で、その点でも皆が千ドル出した福岡玄海 L C はすごいね。

——ライオン歴の長いお二人には、ちょっと不躰な質問ですが、今迄にライオンズを辞めようと思った事はありましたか。

**秦名誉顧問** ありますね。L C はやはり人と人の付き合いですから、どうしてもうまく行かない時があり、辞めようと思った事もありました。その時は幸いにも思い直しましたが、やはり各人がそれを乗り越えて行かねば、L C は難しいですね。

**瀧名誉顧問会議長** 私も幹事の時にありましたよ。福岡中央 L C は古いクラブで、百人位いましたから、幹事になるのはだいたい入会六年位経ってからです。しかし、私は三年目になったんです。アゴが達者という事だったらしいんですが、「出る釘は打たれる」ではないですが、案内状の書き方一つでも徹底的にやられました。なんで利害関係のない奉仕団体で、お互い足を引っ張って、いじめられなければならないのかと、こんな事なら辞めようかと思つた事も随分ありましたよ。先輩達によくいじめられたから(仕返しをしよう)と飲み友達と和尚の禅寺で持ち出し例会をした事もあります。懲らしめてもらおうと思つたんですが、先輩と一緒に自分も痛い目に遭わされて、和尚から「人と同じ痛みを知らないさい」と諭された事もあります(笑) 一方では、その時、肩を組んでお寺に運んであげた足の悪い年配の会員から「楽しい例会をありがとう」と喜ばれた事もあります。まあ、その時いろいろと良い経験もし、思い出も出来ました。

**秦名誉顧問** (瀧さんの) 入会当初の話ですね。

**瀧名誉顧問会議長** (幹事を一生懸命務めたおかげで、貿易の) 仕入れに出れず、売り上げは四千万円落ちました。(会社が) つぶれるかと思いましたが、やはり良い奉仕をしているせいですかね、つぶれないで済みました(笑)

“一つの福岡”であった旧 4 R から、旧 6 R と旧 7 R が分離して、現在の 2 R に再編された訳は?

——あまり(L C の) 役職に就いて困ったという話をする、会員の間に(就任への) 拒否反応が起きたりして問題ですからこの辺で打ち止めにしましょう(笑) それでは本題に入りますが、最初に、現在の 2 R のクラブ編成にしていますが、二〇〇六年に旧 6 R・1 Z と旧 7 R が再編されて、現在の 2 R が成立したわけですが、そのあたりの経緯のご説明をお願いいたします。

**秦名誉顧問** その前に福岡市を中心とした旧 4 R が二つに別れた時から話さないと、話が続かないと思いますよ。

——もともと福岡都市圏は 4 R だったわけですね。それではその辺からお願ひします。

**秦名誉顧問** はい。二十年前は福岡都市圏全域が旧 4 R だったわけです。最初旧 4 R から波多江さんが旧 6 R (福岡市周辺地域及び交通の利便性の関係で長崎県壱岐・対馬) を作って出て、その後残った旧 4 R から旧 7 R が分かれたわけですね。

——それで旧 4 R が一九八八年に(旧 7 R と) 福岡市を二分したわけですね。クラブを分けた基準は何ですか。

**秦名誉顧問** これは相当いろいろありましたが、結局(親子の) 系列同士でやろうとなりまして、福岡 L C 系列が旧 4 R、福岡西 L C 系列が旧 7 R になりました。そして私が初代の 7 R・R C (D D G) です。

——福岡市は会員数が多かった為ですか?

**秦名誉顧問** そうです。旧 4 R が二千人にまで増えたので分割したわけです。

——その後、二〇〇六年に現在の 2 R が成立するわけですが、当初、旧 4 R が二つに分かれる時、親子の系列を基準としたと言われますが、2 R の会員名簿を見ていつも気になるのですが、福岡舞鶴 L C を親とする福岡第一(旧福岡舞鶴第一) L C だけが 4 R に所属しているのは何故でしょうか?

**秦名誉顧問** その件は東洋開発の庄野崎さんの様にメインになる人が沢山会員を連れて 4 Rに残ったと思えます。分かれる時に調整が難航した記憶がありますね。

**小松 R C** 私は福岡舞鶴に居りましたが、秦名誉顧問が仰る意味がわかります。

いろいろ表に出せない事もありましたね。

—— 一般会員の方が会員名簿を見て、福岡都市圏は会員が多いから二つに分かれているのだろうけど、クラブはどんな基準で分かれているのかと疑問に思う方もおられると思うので伺っているわけです。

**秦名誉顧問** 川(の東西)で分けようか等いろいろありましたが、最終的にエクステンションの系列になりました。大体千人近くで分けたと思いますよ。済生会院長の土屋呂武(元国際理事)さんが分ける時の中心人物です。それからガバナーのローテーションがからんできません。七つのリジョンがあれば、七年に一回しか(順番が)回ってこないし、リジョンの会員数が四百人のところと千人のところでは不公平ですね。今は大体千人近くでリジョンが出来ていると思います。旧2R(北九州市の半辺)と旧6Rが会員が少なかつたから、洪田さんがガバナーの時に言い出して二〇〇五年麻生ガバナーの時に現在の状態に再編されました。

## 名物男し辛島幸雄とし岡崎大助、昔はサムライが多かつた

——では次に、この二十一年間で最も印象に残つた出来事や思い出、あるいは「あの人はすごかつた」と感心されるような役員の方がおられましたら少しお話しして欲しいと思います。

**秦名誉顧問** 一九九三年ですから十五年前ですが、私がガバナーの時、まだCSFIでしたが、同じ福岡玄海LCにいた瀧さんも地区の副幹事で頑張つていただきましたが、みんなに努力してもらつて、うちの地区が全国三十二地区の中で五、六番目になりました。その時に福岡玄海LCがフェロークラブになつたんだよね。うれしかつたですね。

**瀧名誉顧問** 金集めはきついですよ(笑)

**秦名誉顧問** 私(がガバナー)の時の幹事の辛島さんと会計の岡崎さんは、もう亡くなりましたが、名物男でしたね。二人とも酒が好きで、食事をする時も『ガバナー酒を飲ませろ!!ビールが無いと喉に通らん』というほどでした。特に辛島さん(前地区YE委員し辛島幸司の父上)はとび職の親方で、髪は角刈り。本当は優しい男だつたけど、見た目が怖く、連れ立って行動すると「秦さん今日はボデーガード連れて来たの?」と言われたものです。岡崎さんは酒に酔うと人をパチパチ叩く癖があり、温泉と一緒に泊まつた役員が一晩中叩かれて

眠れなかつた話もありますよ(笑)

**瀧名誉顧問** 昔の役員の方がサムライっぽかつたよね(笑)

**秦名誉顧問** それに、ここにいる瀧さんも面白い人ですよ。私が地区のYE委員長の時、YE委員をしてきてね。その縁があつて、(私のいた)福岡玄海LCに転籍して来たんです。

——ガバナーの時の副幹事で、YE委員長の時に委員を務めるなど、お二人は結構かぶつて居るんですね。

**瀧名誉顧問** いやだつたのに、「福岡玄海LCを立ち上げるから」来い来い」と誘つて、そして、こき使われてね(笑)

**秦名誉顧問** 「来い来い」とは言つてないがね(笑) まあ、福岡玄海LCを作る時に一緒にやつたんですよ。福岡西LCから福岡北LCが出来て、福岡北LCの十周年記念事業としてね；だから皆仲間みたいなもんですよ。

**瀧名誉顧問** あの頃から私は思つて居るのですが、昔のエクステンションの方法は人数がうんと膨れ上がつて、その中から三分の一ぐらい、二十四、五人を連れて行くというものだつた。今は小さなクラブから二十四、五人が出て行つたらどうするの?元のクラブは無くなつちゃうでしょ。

**秦名誉顧問** 福岡玄海LCを作つた時は六十九名ですよ。

**瀧名誉顧問** ああの頃から私は「一般公募のクラブを作りましょう」と、秦名誉顧問に言つて居るんです。新しいクラブが出来ても移りにくい。一般公募ならあまり問題は無いわけです。それで福岡中央LCから三名、福岡大濠LCから二名参加しましたよ。

——一般公募というのは、LCの会員に対するものですね。

**瀧名誉顧問** これからエクステンションするにしても、そういうクラブしか出来ないと思うよ。スポンサークラブが無ければいけないわけだから、どこが母体にはなりませんけど、そこから出た者と一般から新しく集まつた者で作る形ですね。まあ、何だかんだと言つても、とにかく秦さんとの付き合いは長いです。いろいろ怒られたり、文句言われたり。喧嘩もしましたが…(笑)

最初、YE委員やつた時「お前が進行しな」と言われ「HFオリエンテーション」の「HF」を「エイチ・エフ」と読んだら青筋立てて「ホスト・ファミリー」と呼べと怒鳴る。前に教えてくれればいいのにね。えらい怒つて居るわけよ(笑)

——想像がつかますね(笑)

## YCEの基礎を作ったのは当時の秦委員長 当時は一生懸命でした

小松RC YCEの今日のベースを作ったのは秦委員長ですよ。その後を岡崎さんや辛島さんもやりましたかね。とにかく、私の記憶では、旧7Rにキャビネットが来て、秦名誉顧問がガバナーになって、そこから組織がはつきり形成されましたね。

**秦名誉顧問** 旧4Rの時は、YEをしないと、ガバナーは出来ないとされたものです。とにかく、みんな一生懸命やったね。なぜ一生懸命やったかと言うと、その当時は一般の方はなかなか日本から旅行に行けない時期です。お金もまだ一ドル三百六十円時代。だから頑張ったんです。特にご存知のように旧4Rはし貝島が作ったようなもので、その貝島さんがオークランドとの姉妹提携をされ、青少年交換を始められた。それが発端でした。市内の旧4RのクラブはYEを熱心に行っていました。

**瀧名誉顧問** その頃のYEはね、役員が地区から支給される交通費を誰も取らずに貯めてね。それで親睦に使う。結構貯まったから原鶴(温泉)かなんかでやったね(笑)

**秦名誉顧問** それは嬉野(温泉)だよ。

**瀧名誉顧問** そうそう、嬉野でやった時だったか、食事の後に二次会だから軽く千円の料理を二つ注文したつもりが、どこがどう間違ったのか、何時まで待っても持って来なくて、ようやく持ってきたと思ったら、何と五万円の刺身が二皿きて困った事がありました(笑) 黒鯛だの何だの高級な魚を用意するのに時間がかかったらしく、「冗談じゃ無い!!こんな今から食べられるわけ無いだろ」なんてやりとりして(笑) しょうがないから温泉の従業員皆集めて宴会しましたよ：勘定は先輩が払ってくれて助かったが…(笑)

**秦名誉顧問** あれは大笑いしたね(笑)

**瀧名誉顧問** 原鶴でやった時なんか、鵜飼い舟から川に落ちこちちゃってね。私は心臓が強かったから良かったけど(笑) 秦YE委員長は仲間意識が強くて、毎日が楽しかった。

## 組織の変革に向けてお二人の考えは？

——YCE委員会はOB会もありますね。では、楽しい話が出ましたところで、これから少し堅い話に移ろうと思います。今後の地区に於ける組織論を伺いたいのですが、先般十月二十日に開催されました「2R第一回ガバナー諮問委員会」に於ける各ZCの審議事項報告をみても思うのですが、各クラブの危惧するところとして、全体として会員減少によるミニクラブ化が進む中、相も変らぬ輪番持ち回り・任期一年制による役員選出や、運営方針の継続性の弱さ、これは小松RCのお言葉ですが、クラブに蔓延する消化不良による魅力減退、社会奉仕団体としての達成感が十分に体感出来ないでいる不満が噴出していたように私は思いました。思いますに、皆さんが何か変えないと「このままではダメじゃないか」と感じていらつしやるわけですが、それでは一体、様々な問題をもっと具体的に掘り下げて、いつ、誰が、どのように変革を実行するのかという具体案を提示し実践しない限り、限られた短い時間でのキャビネット会議やガバナー懇談会、リジョン・ミーティングやゾーン・ミーティングを何回やっても変革は出来ないと思うのです。ましてや例年の年次大会の各分科会の決議事項に於きましても、ややこしい問題のほとんどは持ち越しになりますし、議題にさえ上らない事もあります。お二人はこれらの問題に対していかがお考えでしょうか。

**秦名誉顧問** 年次大会等については、ご指摘のあったことは私らもそう思います。だから私がガバナーをした時は『チェンジ、チャレンジ、コミュニケーション』の3Cをテーマにしました。しかし、何も出来ない内に一年間はすぐ終わります。一年任期制だから仕方がないが、でも二年となると、やる人がぐたびれてくる。国際協会でも二年という提案もある。国際大会の前に世界中から七百以上の地区からガバナー候補者を夫婦同伴で集めて行う、金のかかる(ガバナーになる為の)研修会(約一週間)の莫大な費用も任期二年にすると、半分で済む。しかし、二年任期は難しいでしょう。地区の年次大会でも一日で済ませようとすれば、分科会でもあまり時間が取れないし、ガバナーも終わり頃だから、セレモニーになつてしまう。でも地区によっては、前夜祭でじっくり時間をかけてやる場所もあります。皆さん名誉顧問も含めてもう少し勉強していかねばならないでしょうね。そうしないとうしてもマンネリになつてしまう。瀧さん、どうでしょうか？

**瀧名誉顧問** 同感です。勉強は大切です。私の時のキャビネットは長期計画委員会をはずしちゃった。それよりも地区のレオ委員を一人ずつ増やし

の方が良いから。何故、はずしたかと言ったら長期計画で動いていて、本当に決まった話なんて五年に一回、十年一回。リジョン替えをするとか、そんな決まったテーマがある時以外、何の役にも立っていない。私も長期計画委員やったことあるけど、行って交通費もらって帰ってくるだけ。私はこれから長期計画をやるならしつかりとキャビネット事務局をどうするか等を検討すべきだと思ってます。私は福岡市から動かさない方が良いと提案した事もある。そうすれば2Rと4Rには交通費出さなくて良いでしょう。年次大会は、これだけはガバナーの出身地域でもっと面白くやつたらいい。しかし、前日の分科会は事務局のあるところで、三時間位かけてじっくり開けばいい。その辺はキャビネット単位でこれから進めていかねばならないと思いますね。

## ガバナーのローテーションを廃止しなければ改革はできませんよ

**秦名誉顧問** もう一つ大事なことは、ガバナーがローテーションで回っている事です。私はこれからは若い人がガバナーをやらないと、ライオンズクラブが衰退して行くだろうと思う。もうローテーションなんて考えられませんか。2Rは初めから(旧7Rの時)役員/委員はローテーション無しにやるとしていたから、どこのクラブからでも役員/委員は何度でも出れるはず。ところが、よそのリジョンはそうでもない。これでは素晴らしいガバナーは出てこない。これは我々が年次大会で決めればすぐ出来る事なんです。これは改革としてはイノベーションですよ。

——それはお二人がウンと仰れば、瞬間に出来る事ではありませんか？

**瀧名誉顧問会議長** その通り。

**秦名誉顧問** いや、そんなことはありません。各リジョンに名誉顧問がいる。その人たちがしつかり考えなければいけないが、やはり今までのしきたりなんかがあつて変えきれない。

——リジョン持ち回りのガバナーもこの時期ですから変えた方が良くと思うのですが…

**瀧名誉顧問会議長** 私は年次大会の選挙でガバナーを決めても良いと思う。各リジョンから推薦をもらつても良いし、これから素晴らしい人がガバナーに出て来る為には必要と思うね。そういうものを押し進めていかなければ、改革は

出来ない。

——お二人の話を聞いていて、私はこの対談を企画して非常に、良かったと思つています。それは一般会員の方々は、ライオンズの改革が出来ないのは、トップリーダーの方々がそれを望んでいないからだと思つている人も多いのです。ところが、今日の対談を聞いたら、それは違ふと分かる。それなら自分達も悲観したり、絶望せずに頑張れば展望が開けると思えるのではないのでしょうか。そして、秋号で小松RCが言及されています「組織体制検討委員会(仮称)」のようなものが、ライオンズを活性化させるために必要だと思つたのです。もとある「長期計画・構造改革委員会」を本当にきちんと活用してもいいでしょうし：まずは、各クラブやゾーンからリジョンに対して建設的な意見を持つ方々を招集して、討議・実行する事が必要ではないでしょうか？

**秦名誉顧問** 私は旧7Rの時、会長経験者とZC経験者を全て集めて昼飯食べながら一人ずつ意見を聴いた事があります。そういう事を瀧さんあたりは若い。だから三カ月にも一回でも四カ月にも一回でも良いからやって欲しいね。そうすれば改革は出来ますよ。

**小松RC** 私の名前が出たから発言しますが、リジョンでもいろいろ問題がある。私はこれからのライオンズの在り方等も含めて、それらの事を検討する専門委員会を二年とか三年とかかけて、地区役員や会長経験者から出された意見を集約して、将来の展望を開いて行かねばならないと思つていますね。

**秦名誉顧問** うちのクラブは今、会長経験者による会長会をやつてます。

**瀧名誉顧問会議長** 確かに福岡玄海LCは進んでいますね。

## 単一クラブの主体性とは何か？

### 組織の一員としての認識は？

——それでは次に話を進めますが、単一クラブの主体性に関してです。私はそれがむしろライオンズクラブの活性化に手加足脚となつていような気がして仕方ありません。何を言つているかと言いますと、私が所属しますクラブの新しい会員研修会に於いて、講師のライオンが例年お話しされる言葉なのですが、「ライオンズクラブは一人一人の会員が主役であり、原則として単一クラブは、理事会や例会に於ける議決を基にその主体性が最大限尊重され、キャビネットは全体を統括する行政機関の役割を担っています」ということなのです。私はここでいう「単一クラブの主体性」をあまりにも尊重しすぎると、せっかくRC

やZCが「皆さん寄りませんか」とか、「合同例会をしませんか」「協力してやりませんか」と呼び掛けても話が進まない。私が会長を務めていた時、当時のZCが他クラブに呼び掛けた事があるのですが、「ほっとしてくれ」的な反応にがっかりしたことがあるのです。「ライオンズは組織なんだ」「組織は数だ」「数は力だ」と、原ガバナーも仰ってました。個人がいて、単一クラブがあつて、地区がある。全体としての組織のパワーが大きくなると社会にも認められないわけで、単一クラブの主体性は組織運営の弊害になる可能性も否定できないと思うのですが、その辺の指導はいかがでしょうか。

**秦名誉顧問** 貴方の言われていることは大事な事です。国際協会の中の単一クラブです。だからあくまで国際協会という組織の中のクラブですから、組織の中にいる以上は組織の運営の事を考えてもらわねばなりません。協会自体は奉仕をしません。奉仕をするのは財団のLCIFです。奉仕団体の単一クラブが協会を組織しているわけです。その辺をよく理解して単一クラブは行動して欲しいですね。単一クラブで奉仕等が出来ない時は合同または地区等でやりなさいとちゃんと規定しているはずですよ。

— やつぱりみんなが協力し、腹を割って話し合えないとうまくいかないですね。  
**秦名誉顧問** ライオンズクラブは奉仕団体の中で世界一だとメディアで取り上げられています。それは財団が経費をかげずに全額奉仕に使っている事が評価されているわけです。だから単一クラブは奉仕団体として世界最大の組織の中で活動出来るという事に誇りを持って欲しいですね。

**小松RC** 問題は古いメンバーの中にも理解していない人が居ることです。CSFIIの時も「俺たちは単一クラブで活動しているから、余り協力しなくてもいい」と言った人がいました。我々も日々理解と改革を訴えていくことが責務と思っています。

## ライオンズ勉強会!! 次代のリーダー育成は重要課題!!

— 次に次代を担う人材育成についてお尋ねします。ライオン誌によりますと3321C地区塩釜LC出身の志賀重信が四十九歳で今期ガバナーに就任されています。ライオンズの型を打ち破る可能性があるリーダー”などと評されているようですし、RCを置かず、ガバナーから直接ZCに繋がる体制も整えようとしています。私は3371A地区でも組織の若返りと活性化の為に、四十代や五十代の人材をガバナーとして輩出すべきだと思います。そこで、一つ

提案があるのですが、3371A地区も七つのリジョンが五つのリジョンに減ったとは言え、持ち回りの輪番を待っているには相当の年月がかかります。重松ZCが提唱される「ライオンズ大学」と3301B地区が組織する「地区青年アカデミー委員会」にヒントを得たのですが、戦後の吉田首相の「吉田学校」や松下幸之助の「松下政経塾」のようなもの、たとえば「3371A(または2R)ライオンズアカデミー」と呼ばれるようなものを作り、意欲的な若手の会長・幹事経験者を公募して、お二人のような指導者が直接ご指導に当たる。誤解がないよう申し添えますが、派閥や徒党を組むという意味ではなくて、プロトコルの伝承や組織運営も含めて、未来を託すに足る人材を発掘するという事が本旨です。いかがでしょうか？

**秦名誉顧問** 以前はガバナーになる位の人を月に何回か集めて、テーマを決めて研修をしていましたが、もう年を取りましてね：私が提案しますから若い人たちがやって欲しいと思います。いろんな局面で新しい事が出来ないのは名誉顧問とか元国際理事とか反対する人が多いしね。

## 意欲ある人材をお互いが押し上げて行かないと駄目

**瀧名誉顧問会議長** 勉強会を立ち上げるのも結構大変だよ。若い人材が活躍して自分と同じレベルになると面白くない人が居たり、あなた方の様に優秀でいち早くやってくれそうな人を集めようとしても、クラブから邪魔が入る可能性もある。「二本釣りするな」とくるわけだ。(好き嫌いじゃなくて) この人は伸びると思つて他のクラブから声をかけると、クラブ内で「あいつは先輩をさしおいて」等の問題が出て来る事も考えられる。私がRCの時、あるクラブからYE委員が出て来たけれど「理事会で決まったから仕方なく来ました」と言うんだね。私は力チンときたから「もう来なくていい」と言つて、そのクラブに行き「トコロテンじゃないんだ。お宅のクラブに(適材が)いないなら他のクラブから指名する」と、結局他クラブから指名し直した事がありました。その時も反発食つたですよ。そして言われた言葉が『何で一本釣りの事なのか?』…このままだと、ライオンズクラブは伸びんし、意欲的なメンバーを集めるのに一苦勞しますね。日本人は遠慮しすぎですよ。意欲ある人材をお互いが押し上げないと駄目ですよ。

— 何事も現状維持に固守したり、縮小傾向の人も多いですからね。

重松 Z C やはり会員の資質も落ちてきているのかなあ？きちんと教育して、リーダーを育成しなければとの感を益々強くします。

瀧名 顧問会議長 福岡玄海 LC のメンバーを見て、CSFI をあんなに出来たもんだなあと思いますね。新しいメンバーも多いのによく皆が付いて来たなと感心します。

重松 Z C うちの場合は盛り上がりましたね。決して無理強いしたわけではありません。雰囲気良かったのかな。

小松 RC このごろ他クラブを訪問して感じるのには、そのクラブの長老が徒に過去の歴史を引きずっているケースが多い事。そして、本当のライオンズの奉仕が損得勘定にすり替わっている気がする事です。「何でこんな忙しい時に活動するのか」「何でそんなところに奉仕するのか」等いつの間にか商業の発想に変わってしまった事が多い。残念ですね。

秦名 顧問 ついでに言えば、例会を見れば、瞬時にクラブの質が分かりますね。

## 二〇一二年開催予定 福岡オセアル・フォーラムの骨子とは？

——続きまして、二〇一二年に開催が予定されている「東洋・東南アジア・ライオンズ(オセアル)・フォーラム」について簡単にお尋ねします。この大会は、東洋・東南アジア地域のクラブを代表する参加者が集い、ライオンズクラブの活動をよりよく理解するとともに、合同事業の可能性を探ったり情報交換を行う事で、LCIF に対する理解と認識の向上を図る事を目的としています。各国持ち回りで毎年十月～十一月頃開催されています。早くも前回のゾーン別諮問委員会、会員一人当たりの負担金が最低一万五千元と通達されました。ガバナー輩出も2Rの輪番ですし、開催地も三十五年ぶりに福岡という事で全国的にも注目されています。因みに過去は、前身のアジア大会も含めると東京・京都・名古屋・札幌・神戸・横浜・仙台で開催されています。

秦名 顧問 日本に来るのは七年に一回です。福岡でやったのは約三十年前。坂田ガバナーの時に大濠公園にテント張ってやった位ですから…何がフォーラムかと、完全に答えられる人はいないと思います。第一番に何をテーマでやるかを考えなければなりません。

瀧名 顧問 負担金が一万五千元と聞きましたが、この数字はどこかで

公に出たの？

小松 RC 出ました。決まっていなくても、協賛金がそれ位は予想されると言う事です。

——これは、年次大会の負担金も含んでいるのですか。

小松 RC はい。

瀧名 顧問 決まっているのは、福岡でやる事だけです。実践で動くのは、2Rと4Rでしょうが、本当に新しいフォーラムを作っていくべきで、早くきちっとした組織を作って行かねばならないと思っています。

——なぜここで取り上げたかと言うと、各クラブで積み立てをするかどうかを迷っていると聞いたからです。とりあえず、一人当たり一万五千元程度と分かっただけでもありがたいところです。前回一九七七年のフォーラムでは、大濠公園特設会場に鳩山威一郎外相を迎え、海外十一カ国七百人の会員と国内五千八百人の会員が集まったそうです。また、開催前年に亡くなったL貝島義之を偲んで「貝島みこし」のパレードが行われ、L村上薫を翌年の一九七八年東京国際大会で国際第三副会長に推薦する事も決められた歴史ある大会であったとされています。二〇一二年は大体何人位参加があるのでしょうか。

秦名 顧問 万を越さなければ成り立ちません。一万五千人以上の登録はして欲しいですね。でも、まずは現段階では何も決まっていませんから2Rと4Rの方はフォーラムのために働かねばならないと言う事だけでも認識しておいて欲しいですね。実行部隊と運営組織は別ですよ。

瀧名 顧問 福岡で開催されるのは複合地区のフォーラム組織委員会ですが、もう少し開催地のリジョンに流して欲しいと…このフォーラムは、福岡市としても近年にない一大イベントとして期待されていますよ。

重松 Z C 福岡で開催されるちゃんとした経緯と目的等を今後PR委員会で『フォーラムで何をするのか』『2Rの役割とは』等をまとめて発表して欲しいですよ。

## 最後に会員の皆さんにメッセージをお願いします

——そろそろお時間です。最後にお二人に、この二十年間で「俺はこれをやったぞ」と自負されるものがあれば、また2Rの会員の皆さんに、何かメッセージがあればお願いいたします。

秦名 顧問 先程も申しましたが、私はガバナーの時にCSFIで優秀な成

績を上げさせてもらったのですが、今度のCS F IIでも皆さんのご協力によって、日本から世界最高のドネーションが出来たという事です。これは私はやり遂げたという誇りです。また、2Rが日本で一番早くモデルクラブを達成してくれたのです。日本ライオンズの誇りです。うれしかったなあと言う感じで、皆さんに本当にありがとうございましたと言いたいですね。

瀧名誉顧問会議長 私はエクステンションの問題で、クラブを作る時に親クラブから数を出さないで、一般で集めて一つのクラブを作るやり方を実行して来た事に誇りを持っています。だから皆さんにもこれからそういうクラブを作って行って欲しいと願っています。退会した方でも(元のクラブには戻れないけれど、ライオンズには)未練があると言う方もきつと居るはず。そういう方を気持ち良く受け入れて新しいクラブを作って行くべきだと思ふ。これに関しては、私もまだまだ努力して行きたいと思っています。

—— 本日はいろいろお聞かせいただきましてありがとうございます。今後健康にご留意され、末永くご活躍されることを祈念いたします。対談を終了させていただきます。と思います。



## プロフィール

L. 秦 三郎(昭和4年生 79歳)  
地区名誉顧問・LCF開発プロジェクト・スペシャル・アドバイザー兼  
ナショナル・コーディネーター

**役員歴** 昭和48年福岡西LC入会。同55年福岡北LCチャーターメンバー。同58年同会会長。同60年4R・1Z・ZC。同61年地区YE委員長。同62年複合地区YE委員長。同63年福岡玄海LCチャーターメンバー、同年7R・RC(7R初代RC)。平成5年地区ガバナー。同7年ライオン誌日本語版委員会委員長。同17年より3期連続して国際協会視力ファーストIIスペシャルアドバイザーを務める等日本・国際レベルでの役員を数多く歴任する。

**受賞歴** 代表的なものとして、国際協会YEトップテン賞・国際会長リーダーシップ賞・地区ガバナー100%賞・地区ガバナー優秀賞・国際会長リーダーシップアワード賞・国際親善大使章・国際会長感謝状及び国際会長賞は多数受賞する。

**叙勲歴** 華夏勲章(中華民国)・文化勲章(中華民国)・修好勲章(大韓民国)・興仁賞(大韓民国)

## プロフィール

L. 瀧 榮司(昭和12年生 71歳)  
地区名誉顧問会議長・前地区ガバナー

**役員歴** 昭和57年福岡中央LC入会。同60年同会幹事。同61年地区YE委員。同63年福岡玄海LCチャーターメンバー。平成元年同会会長。平成6年7R・1Z・ZC。平成9年7R・RC。平成11年キャビネット幹事。平成13年複合地区YE委員長、同年福岡フィフティールCチャーターメンバー(創立会長)。平成19年地区ガバナー就任、同年複合地区ガバナー協議会幹事。その他複合地区・準地区での役員を数多く歴任する。

**受賞歴** 代表的なものとして、アドヴァンスメントキー賞・モナーク・シェブロン賞・国際会長ガイディングライオンラベルピン賞・国際会長リーダーシップ賞・国際会長シニアビルダーキー賞・国際会長感謝状及び国際会長賞、LCIF賞は多数受賞する。

1ヶ月で見るライオンズクラブ  
ライオンズクラブ国際協会  
**337-A地区  
クラブ  
分布図**  
2008.11.30集計

337 - A地区会員数 集計表

リジョン	ゾーン	クラブ数	期首会員数	現在会員数	増減	現在平均会員数
1R		23	783名	836名	53	36.3名
2R		29	945名	961名	16	33.1名
	1Z	8	289名	292名	3	36.5名
	2Z	8	287名	295名	8	36.8名
	3Z	8	230名	236名	6	29.5名
	4Z	5	139名	138名	-1	27.6名
3R		19	1,050名	1,074名	24	56.5名
4R		25	956名	972名	16	38.8名
5R		22	1,003名	1,004名	1	45.6名
合計		118	4,737名	4,847名	110	41名

2R

Z	クラブ名	期首	11月末	増減
1Z	福岡西	39	38	-1
	福岡北	44	42	-2
	福岡大濠	29	31	2
	福岡黒田	60	57	-3
	福岡桜	48	52	4
	福岡NOZ	30	34	4
2Z	福岡博愛	14	12	-2
	福岡大樹	25	26	1
	福岡舞鶴	35	38	3
	福岡城東	52	51	-1
	福岡玄海	57	60	3
	福岡誠	20	21	1
3Z	福岡シニア	24	25	1
	福岡花	35	35	0
	福岡フィフティ	32	32	0
	福岡フレンズ	32	33	1
	福岡鶴城	41	42	1
	福岡筑前	41	40	-1
4Z	福岡赤坂	20	21	1
	福岡文化	19	18	-1
	福岡大名	36	39	3
	福岡平和	20	23	3
	福岡黎明	25	26	1
	福岡ベイシティ21	28	27	-1
4Z	若杉福岡	33	32	-1
	壱岐	16	16	0
	花鶴福岡	28	29	1
	かすや南	33	33	0
宗像	29	28	-1	

1R

Z	クラブ名	期首	11月末	増減
1Z	北九州	26	41	15
	北九州中央	19	20	1
	北九州紫水	45	48	3
2Z	北九州小笠原	19	22	3
	北九州小倉	94	101	7
	北九州勝山足立	44	40	-4
	北九州小文字	43	43	0
	北九州シニア	31	32	1
	北九州小倉東	45	49	4
3Z	北九州門司	27	29	2
	北九州東	20	19	-1
	北九州門司みなと	29	32	3
4Z	北九州ルネッサンス	13	13	0
	北九州戸畑	41	46	5
	北九州若松	24	24	0
5Z	北九州高塔	18	20	2
	北九州洞海	21	22	1
	遠賀	39	41	2
	北九州八幡	40	44	4
5Z	北九州西	38	38	0
	北九州帆柱	43	44	1
	北九州黒崎	28	31	3
北九州きなみ	36	37	1	

3R

Z	クラブ名	期首	11月末	増減
1Z	直方	62	61	-1
	中間	68	70	2
	宮若	40	51	11
	鞍手	28	29	1
2Z	行橋	64	64	0
	田川	136	140	4
	豊前	55	58	3
	川崎福岡	33	31	-2
	下田川	34	33	-1
3Z	苅田	54	54	0
	山田	37	39	2
	飯塚	124	124	0
	稲築	36	35	-1
	嘉穂	55	61	6
	穂波	73	72	-1
	桂川	28	30	2
	筑穂	32	31	-1
庄内	29	28	-1	
飯塚竜王	62	63	1	

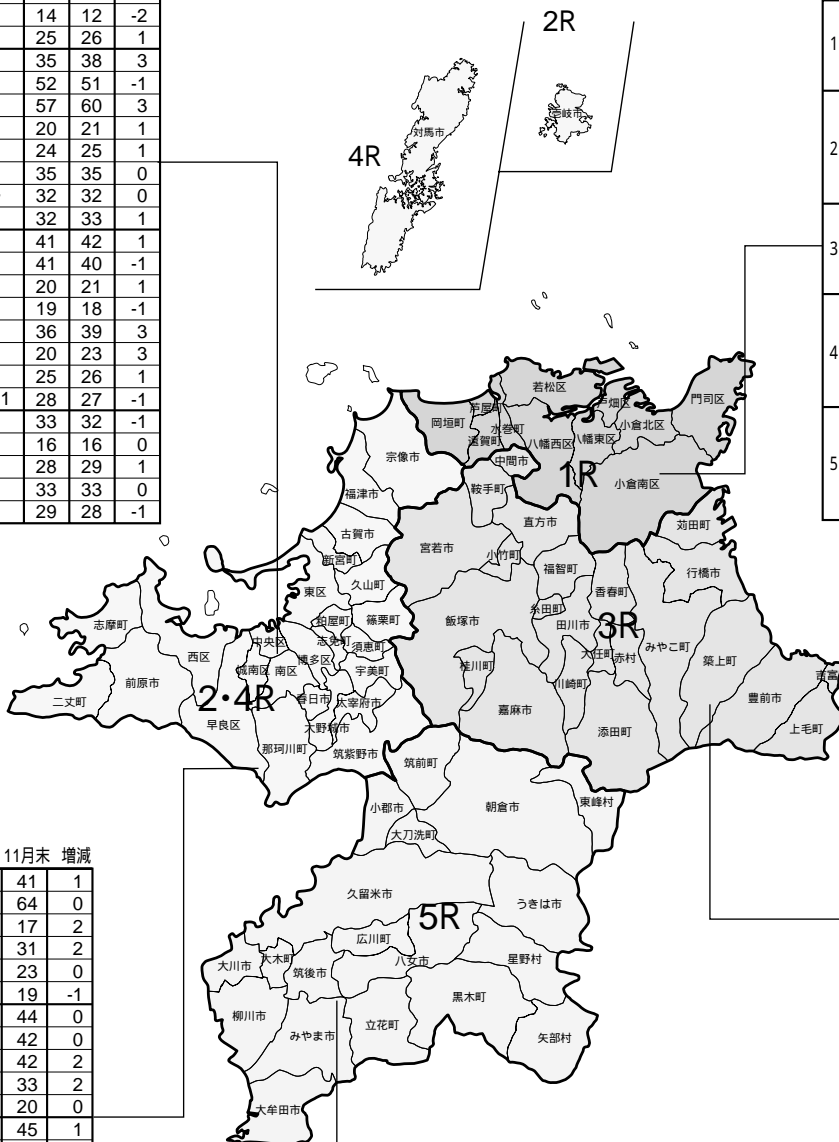
4R

Z	クラブ名	期首	11月末	増減
1Z	福岡	40	41	1
	福岡第一	64	64	0
	福岡リパティ	15	17	2
	福岡くしだ	29	31	2
	福岡鴻臚館	23	23	0
2Z	福岡城南	20	19	-1
	福岡中央	44	44	0
	福岡南	42	42	0
	福岡ふよう	40	42	2
	福岡天神	31	33	2
3Z	博多リパティ	20	20	0
	福岡博多	44	45	1
	福岡博多東	47	46	-1
	福岡博多中	30	33	3
	福岡那の津	69	71	2
4Z	福岡イースト	22	26	4
	福岡博多シティ	31	30	-1
	福岡那の香	31	33	2
	つくし	49	49	0
4Z	つしま	30	30	0
	糸島	63	63	0
	つくし中央	52	50	-2
	太宰府	44	42	-2
	大野城	32	32	0
	伊都福岡	44	46	2

5R

Z	クラブ名	期首	11月末	増減
1Z	久留米	34	34	0
	甘木	66	68	2
	浮羽	32	32	0
	久留米りんどう	59	60	1
	浮羽みのう	31	34	3
	久留米有馬	61	58	-3
2Z	八女	76	76	0
	黒木	28	28	0
	久留米中央	36	37	1
	小郡	51	51	0
	久留米ちとせ	27	27	0
	ちくご菜の花	43	42	-1

Z	クラブ名	期首	11月末	増減
3Z	大牟田	48	49	1
	瀬高	43	41	-2
	大牟田中央	50	50	0
	大牟田三池	42	41	-1
4Z	大牟田不知火	32	32	0
	柳川	65	65	0
	筑後	54	54	0
	大川	50	50	0
大川中央	49	48	-1	





## ★新会員研修会について★

研修を受けないとガバナーにはなれません(笑)

## ★ライオンズで楽しみを見つけよう★

- ①LCに参加するにはまずはルールを覚える
- ②皆と力を合わせてWe Serveするが、(戒律的に)奉仕ばかりを全面に出し過ぎないように。
- ③責任を与えられて辛い事があってもそれを乗り越えて楽しさに転換する。
- ④自分の生き方や、自分の社会(社会勉強・人脈形成)を広げる。

## ★一言でライオンズを説明すると★

身近な自分達の住む地域社会への奉仕を共通の目的とした善意の人々の楽しい集まり。

\*クラブを日本語表記にすると倶楽部(俱に楽しむための集い)

## ★用語の説明★

- ①アクト(行為)はロータリー用語。  
ライオンズはアクティビティ(活動)。
- ②We ServeのWeとは、クラブ会員だけでなく地域住民の理解。
- ③特に重要な道徳綱領「批評は謙虚に、賞賛は惜しみなく、建設を旨として破壊をさけること」

## ★香港で開催されたオセアル・フォーラムで 目撃した国際会長について★

ベントレーから奥様と共に現れた国際会長L.アルバート・F.ブランドル(9.11同時テロ当時のニューヨーク警察署長。その経験により今期アラート委員会(緊急災害)を創設)は、すこぶる(オーラがあり)格好良かった。原ガバナーとはちょっと格好良さが違います(笑)



り、守るためのものではない」との一説であった。  
研修の最後の質疑応答で、福岡リバイタルLC所属L大久保が、いくつかの非常に生真面目な質問を投げかけられたが、その一つの「全国的な会員減少について何故なのか?」と言う質問に関しては、小金丸幹事曰く「減少理由は不景気だけでは無い。クラブが楽しくないから減少した」と本音で答えてくれた。同じ質問に対して原ガバナー曰く「地域に密着した(理解を得られる)アクティビティをやらなければLCの存在感が無くなるのではないか?私の周辺でも「ガバナーって一体何?」という反応。LCの組織の中にあるからこそ地区統括者として認められてはいるが、地元では隣組長の方が余程認知されています(笑)単一クラブは国際協会の一員だからグローバルなアクティビティも大事だが、やはり地域に根ざしたアクティビティを全うする事により住民の理解を得られるのではないか。それに会員が共鳴して増えてくる。折角入会した会員が直ぐに退会する事も無くなるのではないか」とのお答えでした。また国際協会の目的にある『政党・宗派の問題をクラブ会員は討論してはならない』と言う条文の解釈に関しては、

小金丸幹事曰く「政治・宗教の話はOK。政党・宗派の話はNG」、原ガバナー曰く「自分が正しい、他者が間違っているという討論自体をしてはいけない(見解の相違があるので)が、政治について意見を出し合う事は良い事だと思う」との見解であった。  
最後に講師はこの様に締めくくられた。「クラブを健全に運営(元気があるクラブ)する事とは、参加する全ての会員の皆さんがクラブ活動に対して違うと思った事・疑問に感じた事はどんどん意見を言って改善するべきだと思います。オカシイと思ったまま黙っておくのではなく、クラブを良くしようと思うのなら自分の意見を述べる事は重要ではないでしょうか。ライオンズライフが楽しければ人を誘う。その善の連鎖で皆が幸せになると言う事だと思います」  
いつも様々な場面で、キャビネット首脳のお話を伺いつつ私も末席に連なる者として感じる事なのであるが、原ガバナーをはじめとする現キャビネット幹事・会計・副幹事の八名の方々はいつも生き生きとしていて、情熱と行動により地区の会員に答えている様に思えた。今回の新入会員は幸せである。

特集

## 『ブルーフラッグ世界NO1受賞クラブ』の挑戦

報告者 L重松 史郎 (福岡玄海LC)

一昨年十一月に開催された福岡玄海LC創立二十周年記念式典の盛大さには正直、驚かされた。『今時なぜこんな式典が可能なのか?』そして着実に続けられる国際アクティビティとLCIFへの多額の献金…多くのクラブが会員減少による所謂ミニクラブ化に悩んでいる中であって、福岡玄海LCがなぜこんなに元気なのか。今回は2Rを代表する世界NO1ブルーフラッグ・クラブのパワーの源泉を紹介したいと思います。

最初から数字、しかも自慢話で申し訳ありませんが、我がクラブが今回のCSFIIに拠出しているお金は、既に十八万二千ドル(一ドル百円換算で、千八百二十万円)に達し、会員一人当たりで三千ドルを超えています。もちろん一昨年(二〇〇七年)十一月、ライオンズクラブ国際協会のLCIF(財団法人)がCSFIIのために創設したフェロークラブ賞ブルーフラッグ(全会員千ドル献金に相当する額を事業資金として拠出した単一クラブが対象。ちなみに全会員が千ドル献金した場合はイエローフラッグ)を世界で一番早く贈られたクラブ(いわゆるNO・1ブルーフラッグ)ですから、当然といえば当然ではあります。私の自慢はそれが計画的な積み立てでごく自然に、そして全会員の自発的な協力で「無理なく」達成されていることです。我がクラブには国際貢献を重視する

DNAがあると思っています。

私たちは昭和六三(一九八八)年七月七日の創立以来、国際協会の一員であるからには奉仕の対象は国内だけでなく、国外にも目を向けるべきだと考えてきました。日本人の目が世界に向けられるようになった時代背景もありました。そこで「国際ボランティア」として最初に取り組んだのは、地元デパートの活動に協力する形で、スリランカ(インド半島の南東に位置する島国。かつてはセイロンと呼称)に中古メガネを贈る運動でした。スリランカは第二次世界大戦後、いち早く対日賠償請求を放棄して日本の国際社会への復帰に道筋をつけた国でもあり、私たちは友好交流の促進を目的に、平成二年に訪問団も派遣しました。メガネを手に入れようと何時間も歩いてくるお年寄り。そして、地べたに座り、手を合わせて感謝の言葉を述べる住民たち。その光景に私たちの方が恐縮し、感激したことを今でもよく覚えています。その後も『サルボタヤ』と呼ばれる、政府に頼らない「村おこし運動」に協力して、当時のお金で五百万円をかけて老人病院を建設したこともあります。

海外アクティビティには言葉の壁だけでなく、国民性や社会通念、宗教の違いなど課題は多いのですが、難しければ難しいだけ、成就したときの達成感は何にも代えがたいほど大きいものです。わがクラブは各界各層のご協力もあって、これまでスリランカ、フィリピン、カンボジア三国に中古の消防車や、ケヤセンター用のマイクロバスなど二十台近くを贈っています。今や海外支援が「伝統事業」の感さえありますが、LCIF申請を含めて資金集めから現地との交渉、運搬・引渡しまで、過去の事業のどの一つを取っても「楽だった」と思っ

たことはありません。しかし、現地の方々に感謝されることの一回一回の感激がまた次の計画に奮い起たせるのです。

そして何より我がクラブ会員の結束力、老壮青の協調態勢の良さが事に当たったの「瞬発力」になり、難しい海外支援を長く継続できている秘訣と考えられています。しかし、今回のCSFIIの千八百二十万円を含めて、我がクラブの現在のこのパワーも一朝一夕に生まれたわけではありません。チャーターメンバーである名誉顧問・秦三郎の「すべてはきちっとした例会から」の指導の下、プロトコルを遵守する緊張感あふれる例会と事業運営の積み重ねがあつてこそ、と思つていきます。それは同じチャーターメンバーの私ですら一時「ファシズムだ」「ミリタリー(軍隊)的だ」と感じたほどの徹底したもので、勉強しなかつたらこつぴどく怒られたものです。「ライオンズクラブの世界で会長という呼称は国際会長と単一クラブの会長しかないと」というL秦の信念は、たとえば他クラブにあるような親睦○○会会長などが我がクラブにはなく、必ず「○○委員会委員長」となるわけです。

これほど徹底すれば、確かに会員の意識は変わります。今や我がクラブの例会は「日本一の例会」、実行力は日本でも五指に入ると、私は思っています。そして、一昨年のクラブ創立二十周年記念式典は元国際会長、ティー・サップ・

リーCSFII国際委員長をはじめ、多数の現元国際理事のご臨席を賜り、総勢約四百五十人という規模において空前絶後の周年行事とすることができました。まさしく長年の一つ一つの積み重ねの結果が結実したと自負しています。

私たちは現状に甘んじることはありません。奉仕活動、国際支援活動の幅を広げられないか。新しい時代に即した奉仕活動は何か、と常にアンテナを張り、前を向いて歩いています。現在は外国の姉妹クラブは台湾の新竹市博愛クラブですが、縁があれば、欧州のクラブとも交流したいと考えています。会員それぞれが実力をつければ、今後ともより大きな奉仕、交流活動にチャレンジすることも夢ではありません。私自身、国際理事会アポイントを務められていたL秦の相伴をして国際理事会で通訳をしたり、数多くの国際支援活動に携わったことで、多少なりとも英会話に自信が持てるようになりました。今も時間があれば、英字新聞を読むなど少しでもうまくならうと意欲に燃えています。何でも良いと思います。みなさんも「ライオンズに入会してよかった」と思えるようなスキルを一つでも身につけてほしいと思います。そうすれば、また総体としての所属クラブの活動がより活発になるはずで、こんなプラスの連鎖でライオンズ精神が益々広がればと衷心より念じています。

＝福岡舞鶴LC PR・情報・インターネット委員長のL橋山義博が聞き書きしました。



## 委員会報告

# YCE委員会と掛けて「プリンター」と解く ——その心は?——

2R地区YCE委員

L鹿島紀夫

(福岡NOZLC)



## YCE委員の役割とは何ぞや?!

YCE委員を引き受けて丸四ヶ月。実際の活動開始は、六月からなので、もう少し長くなるのかな? 「地区委員の中でもYCE委員が一番大変だ」とは聞いていたが「これ程とは思わなかった」と云うのが正直な感想だ。

まずYCE委員会とは何をしているのか?と云う事から書いてみよう。会社で例えてみると、海外事業部社員の養成所——と云った所かな。海外へ出て行く派遣生、海外から来る来日生。これらの候補生の派遣に至るまでの養成と、来日学生の滞在サポート。簡単に云えばそうなる。

派遣候補生については、簡単な試験、面接、一般公募生のスポンサークラブ探し、開講式、六回のオリエンテーション、終了証授与式、空港での見送り、出迎え、帰国報告会、報告誌の作成、配布。

来日生については、ホストクラブ探し、オリエンテーション、夏はキャンプ、冬はクリスマスパーティー——、県知事訪問、空港での出迎え、見送り、報告会、報告誌の作成、配布。

この他に、キャビネット会議、ガバナー公式訪問、諮問委員会、リジョン会、YCE委員長会、地区YCE委員会等への出席。大まかに書けば、これが、YCE委員の仕事である。

## 空港での見送り、出迎えの延出勤日数は実に六十日間

この中でも、最も大変なのが、空港での見送り、出迎えである。早朝、昼間、夜間と、飛行機の時間に合わせてとなるので、遠方の委員は、四時起き、五時起き、深夜帰宅。夏の空港だけでも、延二十五日間は出勤したのではないだろうか? 来年九月までの任期で考えると、六十日以上は空港に行く事になりそう



●夏期YCE派遣生

だ。その上に、十二回のオリエンテーションは全て、日・祭日開催と云う事で、これも結構大変だ。

しかし、引き受けた以上は「楽しくやらなくては」と云うのが自分流なので、それはそれなりに楽しみな部分を作ってやるようにしている。例えば、オリエンテーションに加わって、英会話の勉強をしたり、マナーを学んだり、折り紙を教わったり、手品を覚えたり。お寿司の作り方、お茶の作法、フランス料理のテーブルマナー、宗教、医学、保険等、普段あまり勉強する機会のない分野の知識の吸収。それこそ、孫と云っても良い年代の若者との交流。派遣学生がオリエンテーションを通じて変わって行く様子、出発以前と帰国後の変化。

委員同士の交流も楽しいものがある。1Rから5Rで五人の委員と委員長長の六人の構成であるが、リジョン毎に、YCE事業に対する認識の違いがある。1R、3R、5Rは福岡市から離れているため、どうしても委員会活動については、2R、4Rが中心でやらざるを得ない。殊に2Rがその中心として活動するためには、2Rの委員の選出に関しては、出来るだけYCE事業に詳しく、時間に余裕が有り、体の動くライオンを選ぶべきだと思う。

今回総務の仕事を割り当てられたが、実際には、予算も組み、YCE派遣生OB会にも首を突っ込み、講師との打ち合わせもし、議事録も作成し等々何でも屋になってしまっているが、地元である以上仕方がないと思っっている。前任のL辛島からは、記録を担当するよう依頼を受けていたが、黒木地区YCE委員長の一声で、総務になってしまった。しかし、自分の性分には総務の方が向いている様に思う。

YCE委員会の活動について、会員皆さんのご理解をいただくために、もっと具体的な委員会活動を書く心算だったが、書き出すと限がないので、この位の所で: 本当の所は、YCEプログラムマニュアルから大きく抜粋して、活動報告としたかったのだが、字数に限りがあるため、次の機会に譲りたいと思う。次に、今回の記事を書くにあたり、地区PR委員のL徳永より「ライオンズに対する思いを存分に投稿して下さい」との要請があったので、これからその部分を少し書きたいと思えます。

福岡西LCに、し鳥谷のスポンサーで入会し、福岡ノーマライゼーションLCのチャーターメンバーとして移籍、ライオンズ歴は既に二十年：目立つのが嫌いでこれまで地区役員を断ってきたが、今回ばかりは、自分が受けなければ、後輩ライオンが役員を引き受けにくいだろうという思いで、引き受けた。

### ライオンズクラブに二十年間在籍して思う事

ライオンズも結局のところ、縦割り、院政、目立ちたがり屋の世界である。ガバナー選出に関しても、このところ余り良い話は聞こえてこない。これは、キャビネット役員の選出に関しても同じだが。特にガバナーの選出に関しては、もっと透明性を持たせるために、まず、クラブ推薦、ゾーン推薦、一般投票の順にやってみて行くべきではないだろうか？一般のライオンの知らない所で何でも決まり、聞こえてくるのは、オゾマシイ話ばかり。最初から敬意を持ってないライオンが選出されても、そんなガバナーは認めたくないではないか！！

院政については、名誉顧問会の存在自体がオカシイ事だと思う。ライオンズの任期は一年限り：そのように聞いていたのに、何故？どうしても必要であれば、任期を三〜五年に限って、ガバナーにとって純粋な私的アドバイザー機関の役割に徹すべきである。もちろん正式な役員からは外れるべきであろう。

その他の役員の選出に関しても、どのような過程でこれが決定されているのかが不透明である。ローテーションについては聞き及んでいるが、会員数の少ないクラブの場合には、考慮すべき問題も有るのではないだろうか？

### 縦割り組織を横断的な風通しの良いものに再編する

ライオンズクラブは、完璧に縦割り組織だ。各委員会を何をやっているかと云う事も殆んど判らない。世代交代の必要性が強く感じられるこの時期に、横の連携を深め、互いに協力して、ライオンズ精神をPRして行く事が重要だ。

そのため、現在レオクラブの地区委員し永本と、レオクラブの会員と、YCE派遣生OB会と協力して、お金のかららないボランティア活動を計画し実行したいと話合っている。幸いにして、YCE派遣生OBの中にも、レオクラブに在籍しているメンバーも居り、その子を中心に、どんなボランティアが良いか検討を頼んでいる。若い人達を中心になって考え、実行する活動に、会員が応援団として参加すれば、それこそ大きなPR活動につながると思う。実現出来れば素晴らしい事であり、是非実現したいと思う。その事を含めて、PR委員会にもっと積極的にYCE委員会、レオ委員会に関わりを持つよう話かけている。

### 健全なエクステンションは規定が必要

次に、エクステンションに関してだが、今はエクステンションの時ではないという話を良く聞くが、それには若干異議がある。クラブ同士の合併も良いとは思いますが、1プラス1は2にならないのが現実だろう。合併により一クラブあたりの会員数を増やす事も可能なだろうが、エクステンションにも一定の条件を付ければ、会員数の増加は期待出来ると思う。即ち「エクステンションするには、親クラブの会員数が百名以上であり、その三分の一以上の会員がチャーターメンバーとして移籍をし、新会員を合わせて五十名以上の会員でクラブ結成が出来る場合に限る」と云う様な条件を付ければ、会員数の増加は期待出来ると思う。これまでのガバナーが、国際本部からの要請とはいえ、クラブ数を増やす事ばかりに意欲を燃やした結果が、一年にして消滅するクラブ、クラブの存続が怪しいクラブを、多く作り出して来た。

### ステータスを取り戻そう！！

### 変革は若い力の台頭が鍵になる！！

結果として、ライオンズクラブのステータスが無くなってしまった様に思う。ライオンズはロータリーと良く比較されるが、ロータリーの会員数は、単一クラブあたり百人以上が一般的である。その上、入会待ちが当然となっている。我々が直面しているライオンズクラブの現状は、衰退の一途である。この現状を打破するためには、ライオンズも変わらなければならない。ライオンズクラブにステータスを持たせるためには、「古い会員の自覚と新会員の燃える情熱」が必要である。若い力をいかにして引き出して行くか？…これこそがライオンズクラブの再生につながる道であろうと思う。だからもっとも若い力の台頭が必要なのだ。ガバナーをはじめキャビネット役員が四十台から五十台で占められる様になった時、ライオンズクラブも大きく変わって行くだろう。

「若者ががんばれー。俺は期待してるぞー」

最後になりましたが、YCE委員会と掛けて「プリンター」と解く…その心は？…「すればするほど書類がたまる（笑）」でした（座布団一マイイ！）



●新旧YCE役員/委員

## 中華民国台北石碑ライオンズクラブを訪ねて

「長島 信之

我々福岡西ライオンズクラブも今期で四十周年を迎えることになりました。その間に海外での姉妹クラブとして友好を深めてきたクラブが、中華民国の台北石碑ライオンズクラブと韓国の釜山文化ライオンズクラブであります。

今回は姉妹クラブとして二十三年もの長い友好関係を築いてきている台北石碑ライオンズクラブに、会長「関山をはじめ五名のライオンが伺いました。

福岡では十月の末にもなるところそろそろ冬物がある季節ですが、台北はまだまた半袖で十分な気候でした。また空港には300-A1区の会長「江をはじめ他多数のライオンに迎えにいただきました。

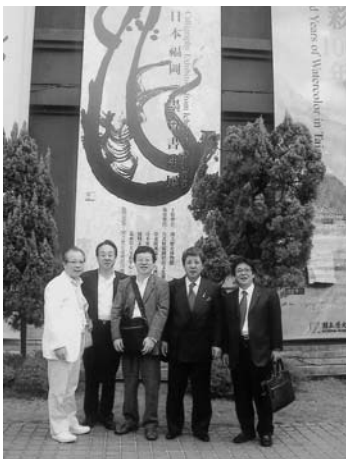
私自身は今回で二回目の往訪になります。最初の往訪は、三年前に我々福岡西ライオンズクラブの三十五周年式典に参加していただいた御礼に伺い、この度は来年四月四日の四十周年式典の御案内に伺いました。前回同様台北石碑ライオンズクラブの例会に出席し、御案内をさせ



ていただきました。例会には他クラブの会長も出席されておりましたが、台北300-A1区のカバナーまで出席していただいた事には大変驚きました。例会は和やかな雰囲気の中で執り行なわれ、とても楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

尚、この度の台北往訪はもう一つの目的があり、それは我々福岡西ライオンズクラブの会員である「井上が台北国立歴史博物館で個展を開くこととなり、その作品を鑑賞する事でした。また台北石碑ライオンズクラブの方々も足を運んでくださることでした。

今回の往訪を通して今まで以上の友好関係が築かれた様に思います。



## 会員増強について思うこと

「原 経博

今期会員会則委員長を仰せつかり、新会員確保をメンバーの方々に呼び掛け更なる会員増強を目指していますが、景気の低迷や社会状況の混乱など会員獲得のための環境は、大変厳しいとつくづく感じております。諸先輩方がどれだけ苦労されて増員されてきたかと思うと本当に頭が下がる思いです。

会員増強に対する個人的な考えは、女性メンバーに入会して戴き、女性の視線から今までは違う角度で我々クラブを変革すると良いと思います。男女共に在籍されている他のクラブでは女性メンバーが4〜5名位居られるとクラブ運営などで活発にご活躍されよい相乗効果が多面的に発生していると伺います。我々クラブは現在、女性会員の在籍はありませんので是非今期は女性会員をスポンサーし会員増強と、クラブ運営への刺激策になれば良いと思っております。

また諸先輩方が作り上げた当クラブの伝統を継承するためには、まず『人』です。縁あってライオンズク

ラブの入会を快諾された大切な仲間がクラブ運営の原動力、財産です。現在在籍されているメンバーの退会防止をすることが何よりも大事であると考えます。そのためには、先輩・中堅会員の方々の意見や、新しい会員の意見を積極的に取り入れて行事や例会も柔軟に変化させよりパランスの取れた活発な運営が出来る様になれば、メンバー相互のコミュニケーションが取れ、クラブの面白み楽しさが増し、その結果退会防止に繋がると思います。例としてメンバーでゴルフ大会や麻雀大会など参加しやすい小さなコミュニティの活動をすれば、何らかの係わりが生まれ、例会・奉仕活動・クラブ行事の出席率向上に繋がると確信します。

ミニクラブ化の傾向が取り沙汰されているようですが、諸先輩方が作り上げた『人』という財産を大切に守り育て将来に繋げていく様、今期は現メンバーの退会防止、女性会員の増強、それを目標に定め、さまざまな場面でメンバーの方々に呼び掛け続けたいと思います。

## 福岡大濠ライオンズクラブ

豊と  
L小松

福岡大濠ライオンズクラブの小松 豊と申します。

入会は平成十八年三月ですので、二年九ヶ月のまだまだひよつこのライオンです。入会のきっかけは、仕事上の私の取引先でありました当クラブ、現在の会長でありますL岩田晃佳の強引な(冗談です。)誘いからでした。

もともと勤務先が外資系企業ということもあり、ボランティアの話題や活動には、頻繁に触れてはいたのですが、参加する程度でした。

私のスポンサーでありますL岩田が当クラブの会長になられた今季から、私も幹事と言う立場で微力ながら皆様のお世話をさせていただきます。

幹事の仕事を引き受けるにあたりまして、当初は、仕事も忙しいですし、できるかな?とか大丈夫かな?とか、かなりネガティブな感情でのスタートだったのですが、今期も約半分が過ぎまして、色々な出来事のなかで、違った感情が芽生えてきました。最初は、引継ぎとか今期の予算組とかちんぷんかんぷんだったのですが、当初の予算とか計画、企画、それによる収益の確保をこなしているうちに何か心地よい充実感

とか達成感を感じるようになりました。

今期の初めにL佐藤、L安田、お二人の新人ライオンをお迎えし、新しい人たちの斬新なアイデアと素晴らしい経験もたれている先輩ライオンの方々の貴重なご意見をいただきながら動いていますと、仕事と変わらない楽しさが得られるようになりました。

十二月は恒例のクリスマス家族例会も開催されました。家族例会は年に数回、自分の家族とか友人に、自分たちの活動とかライオンズ精神をアピールできる数少ない場であると思います。日頃の家族への感謝、また子供たちへの教育という意味でも素晴らしい会にしたいと思っております。

昨今は信じがたい様な事件とかが頻繁に起こっておりますが、みんなが相手の気持ちを思いやり、お互い様の精神で相手に接し、行動を起こしていけば、きつとよい日本になって行くのではないかと、勝手に思っています。

微力ではありますが、今後も少しずつ出来る範囲でライオンズ活動を行って行きたいと思えます。

## 福岡黒田ライオンズクラブ

### 姉妹クラブ合同例会日記がばいばあちゃんのロケ地を訪ねて

L中村 洋人  
姉妹クラブ委員長

「腹減ったあ」「気のせいや」  
「夢を持とう 例えその夢が  
叶わなくても 所詮は夢だから」  
(島田洋七語録)

岡山県瀬戸内市 邑久ライオンズクラブと  
姉妹クラブ合同例会開催

期日 平成二十年十一月十五日(土)一八〇〇  
会場 JALリゾート・シーホークホテル福岡

福岡黒田ライオンズクラブは、黒田長政公のご縁で岡山県邑久ライオンズクラブと友好を締結、五年を経て姉妹クラブの締結をしてから十五年になります。隔年ごとに交互訪問し合い合同例会を開催して親善を深めて参りました。当クラブが黒田を拝命させていた、だしていることもあって、福岡市東区千代町の崇福寺に眠る黒田長政公の墓所清掃費用を毎年拠出しております。また岡山県長船町妙興寺にある黒田孝高公の墓所清掃費の一部として、毎年姉妹クラブを通じて支援させていた、だいております。こうした姉妹結、結は、深い絆に歴史的背景が加味されているだけに一味違った親近感を感じ良好な関係が続いています。

今回は、合同例会翌日の案内先に事欠いて、テレビ・映画でおなじみの島田洋七氏の幼少期を描いて



評判の、「がばいばあちゃん」のロケ地を訪ねました。がばいばあちゃんとは、佐賀弁でスゴイばあちゃんの意味ですが、明治生まれのばあちゃんは、佐賀のみに在らず、全国的に遅く凄かったです。

標題の場所のロケーションは、神社と少し大きめの小川に、枯れた味わいのある茅葺屋根の民家だけです。

武雄温泉観光ガイドのボランティア清水達也さんの名調子の案内に、小雨の中をみんな神妙に聞き入っております。何の変哲もないロケ現場ではありますが、九州内はもとより関西方面からも貸切バスで見物客が絶えないとのことでした。

当日も未整備の狭い駐車場に、中高校のおばさん団体客を飲み込んだバスが数台順番待ちをしていました。但しこは、島田洋七少年生い立ちの予備知識が無ければ、ガツカリします。行き場所にお困りの向きは一度お出かけください。期待はずれでも責任は負いかねます。文頭語録の通り、所詮は夢です。脈絡も無く拙い文章にお付き合

い戴き有難うございます。

私達福岡桜LCは平成元年十二

月二十二日、女性のみのクラブとして日本で五番目に誕生致しました。早いもので今年結成二十周年を迎えます。そこで二十周年記念事業として、青少年健全育成・国際親善チャリティコンサート「チューリッヒ青年シンフォニーオーケストラ公演」を十月十六日、アクロス福岡シンフォニーホールで開催致しました。

スイス・チューリッヒから十六歳から二十二歳の七十数名の将来プロを目指す青年達が、国際親善大使として日本に来日致しました。福岡では我々福岡桜LCが受け入れ先となり公演しました。日本側の代表としては今年団体戦日本一に輝いた、九州女子高校津軽三味線クラブに中間テスト中にもかかわらず演奏していただきました。

聴衆には、福岡市及び近郊の高校・大学・短大等に聴衆依頼をし、一般の方々にも来場していただき、周年行事積立金を使用して、全員無料



御招待という事に致しました。

第一部の津軽三味線は、顧問の岩田先生の軽妙な語り、生徒達の意気合った演奏会で、チューリッヒの青年達も興味深そうに聴き入っていました。

第二部はチューリッヒ側の演奏で最初の曲目「皇帝」は、オーケストラをバックに福岡在住のピアニスト森山和世さんが真紅のドレスで微笑みを浮かべながら流れる様なタッチで共演致しました。次の「新世界」は自信あふれる若々しい演奏でした。公演終了後お客様をお見送りする際皆様口々に「素晴らしい演奏で感激しました。ありがとう」と言ってお下り、半年間素人集団の我々が東奔西走し、無事成功することができ、感無量でした。

これも、他クラブの皆様はじめ、一般市民の皆様、平日にもかかわらず聴きにきて下さった高校・大学等の学生さん達のおかげです。本当にありがとうございます。



私が福岡ノーマライゼーションライオンズクラブに入会させて戴いたのは平成十九年の一月です。約二年間お世話になっております。この二年間、月二回の例会や様々な活動を通じ、色々な先輩方や各関係者の皆様方にご指導を賜り、大変貴重で有難い体験や経験をさせて戴きました。心より感謝しております。また今期スタートの今年の七月からはYCE事業に携わり、学生を中心とした



青少年留学派遣のお手伝いや、海外から迎える派遣生の受け入れのお手伝いをさせていた

だいておりますが、この活動の存在価値や重要性、そして未来へ向けての必要性を日増しに感じております。無謀にもほとんど英語の出来ない私ども夫婦が、ほとんど日本語を話せないアメリカの十六歳の女の子をお預かりした時は、さすがに苦勞もしましたし、かなり大変でし

た。それから折角来日して来てくれた彼女にも不自由な思いをさせてしまったと思うので、やっぱり少しくらいは英語の勉強をしなくてはと反省もしました。そして世界中には自分の将来と国の将来を真剣に考え、前向きに自覚を持って一生懸命勉強し、確実に成長している若者がたくさん居ることも実感しました。

少子化が進むこの日本では、青少年の育成が深刻な課題であることは当然ですが、一人ひとりが真剣に後進を育成する責任があるという自覚を持ち、意識して行動することが私たち大人の役割だと改めて感じております。

まだまだ経験不足で、周りの皆様にはご迷惑をおかけしますが、今後とも無私の精神でライオンの名に恥じめ活動を、精一杯やっていきたいと思っております。

福岡博愛ライオンズクラブ  
川の流れるように

し和田 耕司



知らず知らず歩いてきた細く長いこの道。

振り返れば遙か遠く故郷が見える！

私は別にひばりさんの歌を説明しているのではない。

私が生まれ育った昭和の激動の時代が同じ世代であった。父に死に別れた悲しい幼少の時代、あるときは童女のように、あるときははしたたかに庶民を演じ、庶民の心を歌った美空ひばりさん、「今日の我れに明日は勝つ」と不幸にもめげず、明るく生きぬいたひばりさんが好きだった。生きる勇気を与えられた。

私は昭和十年中国との戦争突入前

夜風雲時代に誕生した。そして昭和十一年二・二六事件、盧溝橋事件をきっかけに日中戦争に突入した暗い時代の幕あけだった。宮崎の田舎より裸一貫無一文で博多に来た。それからのことは文が長くなるので省略するとして、時は流れて昭和四十七年三十七才の時、し松尾哲也、し藤田正紀両医師にスポンサーされて福岡しCに入会する。当時の世相は、佐藤首相が「もう戦後ではない」、沖繩が本土復帰の年であった。折角名門クラブに入会したものの、いつ退会するか、いつもその機会を伺っている毎日であった。クラブ会員年平均五十九才、そうそうたるネームバリューのある方ばかりで、私のような若輩者、看板も財力もない私はクラブになじめず困っていた。そんな時、昭和生まれのライオンが集まり唱和会が設立される。私は三代目の唱和会会長に選任された。もう退会は許されない。古い方、先輩に溶け込む努力が始まった。その時知りあったライオンが元国際理事し土屋であり、故元ガバナーし杉森、故し菊池、し深見、し清沢、

故し峯重、その他多くの素晴らしい先輩の指導をうける光榮に浴した。私は少しでも自分自身にできる奉仕はないのか、次々に行事があるが、あまり記録写真を撮っている事がないのに気がつきました。私は8ミリ制作やカメラ撮影が趣味だったので、このことをクラブ活動に生かしていきたい、と思うようになった。そんな時、私の同業で先輩でもあるし城崎陽吉が福岡西しCに入会するから記念に撮ってと依頼があった。龍鳳にてし城崎入会風景を撮影する。時は昭和四十九年の頃です。その頃私は卓話として、西クラブにYE映画「若い獅子たち」を上映に行つて、故し坂田、し菅原、し篠原、し中山、し明神、多くの先輩を知り得ていた。当時会員委員長し太田雅章の強いおすすめで仕事の出席の都合もあつて西クラブに転籍するようになった。時は昭和五十四年である。この頃は映画「若い獅子たち」自主制作の上映に各クラブ例会に卓話として、重い映写機やスクリーンを持って飛び廻っていた。故し貝島義之は私たちライオンの神様みたいな方で、それは雲の上の存在であった。が、カメラのおかげで近づくことができた。故元国際会長し村上の就任式の映画や写真を贈呈したら、

国際会長より丁寧な色紙をご惠贈を賜り今も大切に飾っています。ライオン一色に燃えていた私にも退会決意をしたことが三回あります。一回はクラブ入会まもない頃、二回目は一九九一年四月突然失明、網膜剥離につき緊急入院したとき、三回目は平成六年福岡ノーマライゼーションライオンズクラブ結成の提案書を親クラブに提出したとき否決されてし篠原郁夫と二人で泣いて残念会をしたときであります。その三回の退会届けを胸に書きつつも全てが私につきがあつた。今は亡き母の守りがあつた。周囲の方々からの応援があつた。私は幸せ者である。ひばりさんの唄のように「川の流れるようにおだやかに、この身をまかせていたい」



## 第一回チャリティーボウリング大会

L平井 良明

十月十五日に福岡大樹LCにおいて、初めての開催となるチャリティーボウリング大会が開かれました。参加者一〇〇名を超える方に参加いただき大変感謝しております。福岡のプロバスケットボールチーム「ライジング福岡」から三選手も参加いただき、会員である山本華世にも表彰式の司会進行をしていただき大変盛り上がったアクトになりました。賞品も豪華に、二名に一人は何かしらの賞品を持って帰られました。これも会員の皆さんに協力してもらい集めることができました。

さてこのアクトは三か月前の例会からほとんど毎回テーマディスカッションと称して、参加費はいくらがいいか？場所はどいうするか？曜日はいつがいいか？ルールはどうするか？などの話し合いをし計画を立てました。今までは、こう決まりましたから、こうしてください、会員みんなで作り上げていこうということで、さまざまな意見を出し合いました。最終的には、みんなが掛けやすいとい



うことで三、二〇〇円の参加費にきまつたり、ボウリングが上手な人だけじゃなく皆さんに優勝のチャンスをとということで、自己申告制ニアピンによるルールといたしました。ゲームが始まる前に申請した点数にいかに近いかで競いました。なんと運営側には予想もしていなかったピタリ賞が四人も出るなど白熱したゲームが繰り広げられました。優勝は、ピタリ賞の中で最高得点を出したライジング福岡の加納督大選手となりました。これは、ライジング福岡のホームページでも紹介されています。ぜひそちらもご覧ください。

みんなで考え企画するそんなアクトを今後も考えていきたいと思っています。次回も参加お待ちしております。

## みんなの力で事業資金獲得!!

会長 L岩本 啓太

今期会長を務めるにあたり、最も頭を悩ます課題の一つが事業資金の獲得です。我がクラブでは今まではボウリングかゴルフ大会で、ここ数年はゴルフ大会が主流でした。しかし、クラブ内のゴルフ人口が減ったこともあり、開催のたびに一部の会員に負担が偏りすぎ、私自身はゴルフ大会による資金獲得に限界を感じていました。



ご協力をいただきました。盲導犬育成のチャリティーと説明したところ、自ら出演料の大幅減額を提案し、チケットの販売までも協力していただきました。会場の『ゲイツ7』も若いジェネラルマネジャーが「チャリティーに協力したい」とこちらも会場費の減額で応えてくださいました。

そこで、全員が参加しやすい企画の一つとして、執行部でチャリティーコンサートを提案しましたが、何しろクラブとして初の試み。消極的賛成が多かったのではと思っ

ていますが、とにかく理事会で承認され、前後およそ二ヶ月間の準備で、開催しました。本番は十月三十日夜。おかげさまで入場者は百七十人を超え、ジャズの素晴らしい演奏とあいまって、満杯の会場は大いに盛り上がりました。九州ミュージシャン協会の方々には大変な

私に関係者の奉仕活動に対する理解と支援に感謝の気持ちでいっぱいです。チケット販売でクラブの基本理念「全員参加」の目標を十分に達成することができ、また約八割が一般の入場者であったことで、ライオンズの活動を大いにPRできたのではないかと思います。今回の成功が我がクラブの事業資金獲得方法について何か新しい展開の芽になれば幸いです。他クラブの皆さんを含め、ご協力いただいた方々にこの欄を借りて、厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

福岡城東ライオンズクラブ

## 第21回「いのちの電話・青少年健全育成支援

### チャリティゴルフ大会」取材報告

PR・IT委員 L河野 眞

十月十六日(木)毎年恒例の福岡城東ライオンズクラブ主催チャリティゴルフ大会が開催されました。大会当日は実に見事な秋晴れで、時間と共に気温もぐんぐん上昇し、歩いているだけで汗ばむほどの陽気となりました。

大会趣旨に賛同されお集まりいただいた方々は総勢四十一組百五十七名となりました。ゴルフには参加されずにお手伝いをしていただいた、「福岡いのちの電話」のスタッフ、福岡舞鶴ライオンズクラブ、当クラブの計画委員の協力もあり受付から終了までスムーズにいきました。

「福岡いのちの電話」とは、社会福祉法人として一九八四年十月に開局されて以来、年中無休二十四時間体制で電話を通じて自殺防止活動を行っているボランティア団体です。このチャリティゴルフ大会の益金はその活動の一部として利用され、昨今多く見られる低年齢層の自殺をはじめ孤独に悩み絶望している人々を少しでも救うことができましたら幸いであるという趣旨で行っているものです。



私は当クラブのPR委員としてこの大会を取材し、残念ながら参加できなかったクラブの他のメンバーに報告すると共に、「社会福祉法人西日本新聞民生事業団」の方にも十月二十三日の当クラブ例会で行われた支援金の贈呈式を取材に来ていただき、翌日の二十四日の西日本新聞朝刊二十一面に記事を載せていただくことができました。

私はPR委員として当クラブの広報を担当し、ライオンズ活動を広く皆様にご紹介することがライオンズ活動を側面から支援することだと自負しております。本年は当クラブ待望のホームページの開設の準備を推進しております。どうぞよろしくお願います。

福岡誠ライオンズクラブ

## ライオンズクラブに入会して

YCE委員 L許斐 英雄



わたくしは、  
このたび 本年  
(平成二十年)  
九月に歴史ある  
ライオンズクラ

ブに推薦・許諾をうけ福岡誠ライオンズクラブに入会させていただきました許斐英雄(このみひでお)と申します。どうぞ諸先輩の皆様方、これから先末永くご指導・鞭撻をたまわりますよう何卒よろしくお願い申し上げます。さて、入会に際しまして正直にお話をさせていたいただきます。最初にL石橋幸吉に入会を勧められたときには元氣よくありがとうございます。と答えたのですがあとになってからよく考えると本当はわたしのよう何ものわからない若輩者が入会してよいのかという不安がふつふつと湧いてまいりました。わたしは、ライオンズクラブがどういう団体なのか、どういう活動をしているのかかわしく知りませんでした。なんとなくの知識ですが社会奉仕活動やっている民間の団体でアメリカで結成された国際的な組織。そのくらいのことしか思いつかないわたしにとってはライオンズクラブという団体はとても敷居が

高く感じられてこのさき何かしら皆様にとんでもないご迷惑をかけてしまうのではないかとそんな不安を漠然と抱えたまま時間が過ぎてしまいました。

そのうちにはじめての例会に参加する日がやってまいりました。緊張する気持ちを抑えて出席させていただきました。

しかし、そこで拝聴したおはなしでわたしの不安や戸惑いや自己嫌悪は救われませんでした。福岡誠ライオンズクラブ会長のおはなしのなかで、学生の間まではわからないことがあれば親や先生が教えてくれたのですが社会に出るとそういうわけにはいけなくなりました。しかしライオンズクラブに入会し経験したことではいろんな気づきやそこからの学びによって多くの勉強ができる、というところがありました。

わたしはそれを聞いてようやく理解しました。そうか勉強する場を与えていただいたのかがたいと。

いまだに右も左もわからないような者ですが、これからは We service という精神のもと多くの諸先輩方への感謝の気持ちを忘れずに精進をしてみたいです。どうぞよろしくお願いたします。

わたしはそれを聞いてようやく理解しました。そうか勉強する場を与えていただいたのかがたいと。

いまだに右も左もわからないような者ですが、これからは We service という精神のもと多くの諸先輩方への感謝の気持ちを忘れずに精進をしてみたいです。どうぞよろしくお願いたします。

わたしはそれを聞いてようやく理解しました。そうか勉強する場を与えていただいたのかがたいと。

## 3371A地区 YCE委員長挨拶

黒木 善弘

今期3371A地区、YEの名称をYCE委員会と改名した地区委員長とMD1337複合副委員長を拝命致しました、福岡玄海ライオンズクラブ所属の黒木善弘と申します、何卒宜しくお願い申し上げます。

今から十年前、未だA地区が1R17R制の時、7Rの地区YE委員として務めさせて頂きました。当時は七人の地区委員と委員長(当時L西村大二郎・福岡北LC)の八名での委員会で苦勞を共にした事が思い出されますが、現在では5R制で五名の地区委員、加えキャビネット担当副幹事にての超多忙な委員会業務です。

今期も七月に入るや、直ちに来日生の出迎えに始まり、七月十八日の県知事表敬訪問、翌十九日二十一日にかけ三泊四日で熊本「阿蘇いこいの村」にてキャンプを実施、前地区委員長始め前地区委員の方々と共に、またYE1S会(派遣生10B)メンバーの協力にて、337複合から参集し

た十七名の来日生と共に無事行事を終える事が出来ました。

ホストファミリーの方々には、来日生を現地まで送り、最終日には迎えとご足勞をお掛けしました事感謝申し上げます。

また、その後の滞在から帰国の途に付くまで、ホスト頂きました事に重ねまして深甚なる感謝を申し上げます。

七月六日、米国からの出迎えに始まり、八月十日の帰国見送りで、夏季来日生(A地区五名受入)は終わりましたが、前地区委員会を中心に七月十六日から海外へ送り出す派遣生の見送り、八月二十九日の出迎えまで(A地区二十名)の行事日程を行い、九月七日帰国報告会並びにホストファミリー報告会開催と続きました。

この帰国報告会にて前期地区委員会の方々は任期を終えられる事になります。衷心より「ご苦勞さまでした・お疲れ様でした」と申し上げます。

さて今期の本格的な委員会活動

が始まり、本年度の冬季派遣生に五名の応募があり、九月二十一日に地区ガバナー原並びにキャビネット役員を迎えて冬季オリエンテーション開校式から、六回に亘る英会話を主に礼儀作法・おりがみ作成などを組み入れたオリエンテーションを行い、十一月二十四日にガバナーより認証・終了証を授与されて十二月下旬から一月十日までの派遣へと進行致します。ちなみに、3371A地区からは前述の五名、MD1337では十七名、全日本では百一名が世界へ派遣されます。

また派遣をすれば受入事業も同時に発生致します。今冬季の受け入れは全日本大にはオーストラリア・イタリア・ペルー・シンガポール・マレーシアから、百二十八名が日本各地に来日し、MD1337では四十一名、内十二名(シンガポール六名・マレーシア五名・オーストラリア一名)がA地区に割り振りが決定致しておりますので、各クラブまた会員各位のご協力をお願い致します。

次に、来年の夏季派遣生の募集も八月二十日に文書発送し九月末締切り、一般公募の応募を含め、

二十七名の応募を頂いています。この後選考試験を行い、翌年三月から夏季派遣生オリエンテーション、来日生受入依頼・派遣先確定し、前年同様のスケジュールが繰り返されます。

YCE委員会の主だった年間行動を記述致しましたが、今期2R地区委員として、L鹿島(福岡NOZ)に総務を担当頂き、地区委員会の要として努めて頂いております。

名称が従来のYEからキャンプの頭文字Cを中間に入れて、今期よりYCE委員会となりましたが、青少年交換プログラムは派遣生の人間性を高めるため、国際理解のもと異国の文化に接し、世界の人々との親善を促進し知識を広めて貰う大変重要な事業であると認識致して、今期皆さんと共に努力致す所存でございます。

何卒一層のご支援・ご協力賜ります様お願い申し上げます。とさせていただきます。

福岡シニアライオンズクラブ

## 卓話を行って

PR・会報編集副委員長 L武田 敬子

食育は、知育、徳育、体育の基礎を成すものです。食育がしっかりしてこその知能が育ち、立派な人格が育ち、体格、体力も出来あがると

思います。戦後、日本では、それまでの日本的なものを否定し、欧米に憧れ、追いつけ追い越せと頑張り高度経済成長へと突き進んでいきました。その間、食育のことを忘れ、欧米食へと変化しその結果、国が食育基本法を作らなければ為らないほど、危機的な状況になってしまいました。切れる子供、切れる大人、重篤な生活習慣病の蔓延、日本の人たちは心も体も病んでいます。

世界では、日本食がブームになっています。米国で、生活が豊かになったのに病人が増え続ける為、国が大調査をしました。その結果一九六〇年代の日本食が、健康に良い食事であると発表したのです、そこから日本食ブームが起きました。

日本には、素晴らしい食文化があります。世界に誇れる食文化です。それらを継承していかなければなりません。若い人たちに伝えていかな

ければなりません。それは大人の務めだと思えます。そこに食育の重要性があります。

昔は、家庭で食育は自然な形で行われていました。食育など意識せず親から子へと毎日の食事をしながらの語らいの中で行われていたのです。今は朝食抜きであったり、食事をしても家族バラバラだったり、一日の中で家族みんなでの食事が無かったり、個食であったりしています。食事の内容も栄養バランスの悪いものだったり、スナック菓子だったりしています。

このような現状の中では、しっかりとした食育のプロの人たちによる食育が必要になってきました。

このような背景から私は食育インストラクターとして、少しでも皆さんの役に立てたら良いなあと思ってお話させていたいただきました。

これからもより精進して、皆さんの健康のためのお役に立てれば良いなあと思っています。

福岡花ライオンズクラブ

## 「福岡花ライオンズクラブに入会して」

L高田 律子



私は、二〇〇八年六月に入会させて頂きまして約五ヶ月になります新人の高田と申します。何も分からないままの入会のため、諸先輩の方々にご迷惑がかららない様、努力したいと願っております。

「入会式」の厳粛な中で大変緊張しました事を今でも覚えております。仕事から女性の方には慣れていたつもりでしたが今迄の世界とは少々違う気が致しました。然し、入会の「戴帽式」の時、諸先輩の温かい「目」、又「温かい言葉」に触れ今は入会させて頂いた事に感謝致しております。

今後ライオンズクラブの中で私に何が出来るのか又、どのように関わっていくべきなのか課題が山積みの様です。将来の青写真の中には私に出来る事で「人」に「社会」に奉仕の精神を持って活動し



てみたいと思っておりますが今私には少し早過ぎるのではと思いつつ、L松井との出会いがありまして入会させて頂きました。諸先輩方を見習い乍ら私に出来る事から参加してまいりたいと思えます。

この五ヶ月の期間に「中高生弁論大会」や「街頭献血運動」等に参加致しました。若者達の力強い弁論を聞き乍ら日本は未だく大丈夫だと感じた事でした。

少し私の紹介をさせて頂きます。「女性を美しく」をポリシーにオートクチュール服飾デザイナーをしております。先日パリから帰ってきたばかりです。パリコレ「博多織・久留米紆イン・バリ」に参加出品してきました。次に東京にて・・・と多忙な毎日ですが微力乍ら奉仕活動に参加してまいりたいと思えます。

## 1年経って思う事

L 谷口真由美

福岡フイフティーLCに入会して一年過ぎました。スポンサーライオンにしっかりと付いていただいて楽しくクラブの皆さんと打ち解けていく事が出来ています。

中洲祭り、献血運動のお手伝い、清掃活動家族会、新年例会、などなど、一通りの行事も体験しました。先輩ライオンは皆さん親切で優しく、また気を遣っていただいているなと感じながら、楽しく過ごす事が出来ています。

アクティビティ、ドネーション、アワード、ゾーン、リジョン、ガバナー、キャピネット、ライオンテーマー、テールツイスター、カタカナばかりのライオン用語もどうにかわかるようになりました。まだそんな状況なのに今年度テールツイスターを拝命し、戸惑いましたが、五役に入った事で、私なりにライオンズクラブの事が少しわかったような気がします。理事会では私のような若輩者の意見も聞いていただき先輩方の器の大きさに感嘆しております。

フイフティーの由来は男女の比率がフイフティーフイフティーになるようにの意味も込められているとか。しかし現在のフイフティーには三十二名中女性は私を含めて僅か二名しかおりません。

フイフティーフイフティーとはほど遠いのが現状です。女性が少ないという事で、特に困った経験はありません。みな仲間しかも紳士の集まりですので、例会時の皆さんのお話はとても楽しく、勉強になる事も多く、世間知らずの私には大変為になっています。

今年度福岡フイフティーLCでは会員増強を合い言葉に、新規会員獲得キャンペーンを展開しております。

そこで私も初めてゲストをお連れしました。新規でも特に女性会員を増やしたいというのが密かな私の目標ですので、お連れしたゲストはもちろん女性です。例会後お連れしたゲストに感想を伺うと、「楽しかった！皆さん優しい方々でしたわ。」と好印象。やったー女性のゲストですので、クラブの皆さんに気を遣ってもらった甲斐がありました。入会に繋がると良いのですが。一年経って、お酒も飲めず、ゴルフも出来ず、男性ばかりのフイフティーの中であり役に立っていない私ですが、諸先輩たちの社会奉仕の心、ライオンズ精神を教えてくださいながら、いつの日かスポンサーライオンとなり、少しでも役に立てるようにになりたいなあ、と思っています。

## 新クラブに入会して

L 村上 久美

私が福岡フレンズライオンズクラブに入会して、早いものでこの十二月で一年になります。本当にあつという間に一年が過ぎ、何もわからないままに先輩たちについてきました。

最近少しライオンズのことをほんの少しずつですが、分かっているウイサーブの精神に基づいて行動する意義が大切で大きな価値があるものだと実感できてきました。又、私達フレンズライオンズクラブのメンバーは色々な国（私のクラブは中国籍、韓国籍の方が多く在籍しています）色んな職業と多種多様な形で国際色豊かなクラブです。ですから、当クラブの例会は三ヶ国語の飛び交うそれは楽しい例会です。是非一度例会に遊びに来てください。

今後、当クラブの特色をいかしたアクトや行事を企画して当クラブならではの言われる活動をどんどんやって行こうと思っています。国境なき医師団ではないけれど国境なきライオンズクラブを目指

しさらに来年は飛躍していきたいと願っています。



「LCに入会して」



「森田理枝子」

LCがどんなところであるかも解らず、誘われるままに入会し、早や十ヶ月が経過致しました。その間、在宅介護をしていた最愛の母を亡くし、母の為に建てた家にたった一人取り残されてしまいました。今、母の位牌に手を合わせれば「もう私は良いから、これから人の為に尽しなさい」と言われているような気がして、入会したのは母の導きなのかも知れない、と思うことにしています。

さて、LCの活動について、ネットで検索しておりましたところ、「ザラタ二〇〇八年一六六号」にも掲載されておりました「2ちゃんねる」にヒット致しました。一般の方々がLCについて、どのような認識を持っているか、ということを知る為に読んでみましたところ、ともかくひどい内容のものでした。折りしも「偽装」ありきの昨今ですから、「不祥事を起した企業はロータリーか、LCのどちらだ?」《ボランティア気取りの偽善者集団》《右翼》

我が家の居候!

幹事「脇坂 秀市」

私は、ライオンズ歴三年一ヶ月、諸先輩から見ますとまだまだヒヨコです。現在、福岡筑前ライオンズクラブの幹事を務めさせて頂いております。

今回は、我が家のペット及び、癒し犬「リビィ」について書きたいと思えます。我が家では、家に帰るとホットします。なぜ?と思われるかも知れませんが、それは、疲れ帰っても癒してくれる人?犬が、居るからです。リビィは、トイプードルのメスの四歳です。人間年齢にすると三十二歳で、人間社会では、バリバリのキャリアウーマンとも言えます。これも、親バカならぬ犬バカであります。

朝六時頃に起き、散歩に連れて行くのが日課です。散歩は、私の健康管理でもあります。毎日、散歩のルートを変えるのも犬にとつては重要なことです。私も散歩中に、いろいろな人と会えるのも楽しみの一つですが、私よりリビィの方に目が行くのが現実です。リビィは、人見知りしないのが長所でもあり欠点でもあります。多くの人は、リビィが近づいて行くと、顔が、ゆるむのが分かります。これも心の癒しかなと思えます。



ここ数年、ストレスが溜まりやすい社会になってしまいました。世間では、金融危機とか環境問題で暗い事ばかりがニュースになり、世界が病んでいる状態ではないかと思えます。会社に行っても仕事がない、倒産・失業する会社が多々あると言うのが現実ではないかと思えますが、心理学では、ストレス発散の最善策は、大声を出す事だそうです。皆さん大声を出していますか?カラオケで歌う事・スポーツで大声を出す事・海や山に行き大声を出すなど、人それぞれ違うと思えます。これは、体の癒しであり、心の癒しでもあります。私は、カラオケで体を癒し、家に帰ってリビィに心を癒してもらっています。我が家にとつては、リビィは、大事な「癒し」です。

皆様は、何で癒していますか?ちよっと立ち停まって考えてみては、いかがでしょうか!

## 『福岡赤坂ライオンズクラブに入会して』

「坂本 優樹」

私が、ライオンズクラブをはじめて知ったのは、三十年程前の小学生の頃でした。

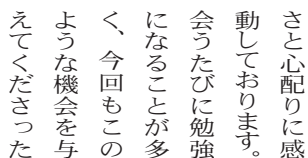
生まれ育った町のバス停に、ライオンズクラブから寄贈されました長椅子がありましたので、私はそれを見ては、「どこの野球チームの椅子なのかなあ」と思っております。小学生の頃とはいえ、今思えば出すと無知でお恥ずかしい限りです。これを機に、ライオンズクラブの活動内容をしっかりと勉強し、実行していきたいと思っております。



私には、小学生の頃からずっとサッカーをしておりませんが、そのサッカーの仲間、先輩、後輩、小学校から高校までの恩師、OBの方々、いろいろな方と巡り会えた事についてへん感謝しております。また、そのような方々からたくさんの素敵な方をご紹介いただき、今でもサッカーをしたり、ゴルフをしたり、食事に行ったり、仕事の上でもお付き合いをさせていただいたり、楽しい時間を共有させていただいております。

福岡赤坂ライオンズクラブでは今期、里親制度の普及活動を推進されていますので、私の若さや元気を生かして、サッカーやキャッチボールを通して子供たちと触れ合いたいと思っております。

ライオンズクラブでの素晴らしい方たちとの出会いを大切に、いろいろなことを学び、自分を高めていきたいと思っておりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。



この度福岡赤坂ライオンズクラブへ、L福岡直子のご紹介にて入会させていただきました。L福岡直子とは十年ほど前からお付き合いをさせていただいておりますが、いつもL福岡直子の優しさで心配りに感謝しております。会うたびに勉強になることが多く、今回もこのような機会を与えてくださった

## 「ありがとうございます」感謝の気持ちを忘れずに

「吉田 昌浩」

私の福岡文化ライオンズクラブとの出会いは一昨年（平成十九年）丁度、一年前のダンスパーティーに参加した事です。

親愛なる先輩からの誘いのもと踊ったこともない社交ダンスを共に練習し参加したのが、始まりです。

最初（初め）は、自分のような者がこの場に居てよいのかと思う位何とも言えない心境でしたが、その時の自分が今こうしてライオンズクラブ会員として居る事が信じられません。

正式に入会したのは、昨年（平成二十年）二月でしたが九ヶ月が過ぎました。何にもわからず、先輩方々のご指導の下私の出来る範囲でボランティア活動に参加させていただいております。

青少年つばさ育成奨励会、街頭献血活動など、今までボランティア活動や支援活動を素通りしていた事もあり、ボランティアという事を通じて人とのふれあい、助け合い、何気なく思ったことも「あり

がとう」と言う言葉により心が穏やかに、また、笑顔になりお互いの感謝の気持ちを通じ合い、人の暖かみを痛感しました。

私達は、周りの方々に助け合いの下で生きていくことですから周りの方々に「感謝を忘れずに」、ライオンズクラブのモットーでもある「奉仕精神」の下、色々なボランティア活動に参加させて頂き、より一層、自分を磨き心の清掃をしていきたいと思っております。



福岡大名ライオンズクラブ

## フィッシュ・オン

┌ 染原浩一郎

小春日和の十月十一日 午後津屋崎漁港から、高速船で一路宗像沖ノ島を目指し、一時間二十分の釣行が始まりました。宗像沖ノ島は知る人ぞ知る有名な島です。

どの様に有名なのかと言いますと、宝の島と言いますか、歴史の島とでも言いますか、世界遺産登録審査中の島です。それに時々テレビ、新聞などに紹介される日本全国例のない、シキタリを千数百年間、現在まで守っている島なのです。そのシキタリと言うのは原則的に一般人は上陸禁止です（特別に年一回程度一般公募して抽選で限定四、五十人の男性のみが、全裸で海に入り、体を清めて初めて上陸できる。）ただ例外として、宗像大社の方が一人だけ住んで（数ヶ月に一回の交代制）居るので

このような、厳しいシキタリがある島にも関わらず、私達釣り人は、上陸出来るのです。ただし限定された場所で（磯・地磯・ケイソンなど）決められた時間内（二

日に跨らない）でのみ上陸なのですが、心踊る瞬間でした。

私達は、地磯のゾウバナに上がりましたが、風と波が強く（引率の釣クラブ豪遊会会長の┌郷原は、風・波共に大した事ないと、失笑されてしまいました）驚くやら怖いやらで、中々釣果も上がらず、夜が白々と明けていきます。釣竿を岩の上に置き背伸びなどしながら、振り返ると、沖ノ島の緑が目に見え、特別な島だなあ、などと余所見していたら、足元の竿が激しく曲がりラインブレイクしそうになり、慌てて竿を持ち上げリールを巻くと真っ赤な大魚（アカハタ五十cm）が上がってきました。アカハタは、とても美味しい高級魚なので大満足でした。私は、今回お世話になった豪遊会会長の様な方が、ライオンズ活動の中核（五役など）となり積極的に活動して行かれる事を、切に望みます。

福岡平和ライオンズクラブ

## 新しき年に思う

┌ 江口太加夫



お健やかに新しき年をお迎えのこととお慶び申し上げます。有為転変とは申せ世界経済が大混乱の最中、本年の幕が切って落されました。我々にとってこれも又不況という名のひとつの試練でしょうか？

LCが誕生して九十余年、日本にLC第一号が東京に産声をあげてから五十六年、クラブ数、会員数の増加と共に右肩上がりで成長を続けてきました。全世界に占める日本のメンバーの割合は減ったとはいえ約九%、世界最大の奉仕団体の一画である。我国に於けるLCがどれほど世界に寄与貢献しているか現状を踏まえれば寧ろ日本財団が無いのが不思議に思える。かつてZC時、各クラブにCSFIのお願いに伺ったとき「LCIFは何に遣われよつかよー解らん。もつと透明性は持たせんと出来んバイ」というご意見を多く聞いた。そういうところからも日本で財団を作れないだろうか、又改善の余地は無いものだろうかと痛感したものである。LCの会員増強が叫ばれ続けて幾久しく思うが仲々その成果を達成出来ない現状がある。何が起因しているだろうか？世相の反映だけ？皆様はそう思われたことないですか？これだけ崇高な理念とそのことを共有する支持層を抱え乍らも下降線を辿るばかりである。

私共クラブには平和レディースという賛助団体がある。寧ろライオンより熱心に各種アクティビティにご協力戴いています。その中には仕事を抱えた人もおられますが寝る間も惜しんで頑張っている人もいます。曰く、「ボランティアが好きだから困っている人に、何か恩返しをしたい。それだけの理由です。」と。今、クラブの現状を鑑みて余りに一部の人のみ負担が掛かりすぎているように思います。ウイサーブとは互いを思いやる心こそが原点にあると思えます。そのことが欠如した時、退会に繋がりがクラブの覇気を無くしているようにも感じます。勿論それ以外の理由も多々あるでしょうが数は力ともいえます。名譽顧問の一人からクラブが増えることに依って奉仕の輪が拡がるとご指導を受けましたがそれには時の流れに無理せず順応していく姿勢こそが大事であるという私の自論はありませぬ。そういう観点からも統廃合併問題と早急に取組むことが急務と思われませぬ。小の声といえど小の声を無にする事なく拾い上げて欲しいと念ずるばかりです。キャピネットの役員さん。今小さなクラブは悲鳴をあげています。最後となりましたが本年一年皆様様のご多幸ご健勝を心からご祈念申し上げます。

## 新人です。よろしくお願ひします。

┌ 増田 晃子

福岡黎明ライオンズクラブ（穂坂博史会長／二十六名）に今年度入会した増田晃子です。

去る、十月九日、当クラブで第五百会記念例会「チャリテイデイナーパーティー」を開催いたしました。二〇〇八年度会長提言「厳しさと愛」をモットーに全員参加が基本で当クラブの家族や友人、又他クラブの方々と、共に楽しいひと時を過ごしました。その時、計画委員でもありますが、私も司会にて参加し、子供の頃、父や家族と共に参加したお月見会やクリスマス会の事を思い出しました。とても懐かしく、そして心地よい時間となり、自然と歌詞が口ずさめるライオンズヒム。

昨年初めて、ご縁を頂き、ライオンズクラブに入会して早や六ヶ月目。例会出席百%を目指し、例会の日は仕事に段取りをつけ、都ホテルへ直行しますが、いつもギリギリでかけつけます。十一月五日に福岡平和ライオンズクラブの記念例会に、会長とスポンサーと共に参加。他のクラブのとてもなごやかな雰囲気と、同

じテーブルにて他クラブの方々とは意図を再確認させてもらいました。女性の多いクラブの方々は活動的で元気一杯！

またまた参加することが精一杯で、周りの事まで気がいき届きませんが、これから活動しながら「We Serve」の精神とは何ぞやと、自分にも問いかけ、日々の生活や仕事、ライオンズ活動に生かして行きたいと思えます。一人でも多くの人に影響力をもち、魅力あるクラブ活動にし、平均年齢も上げていきたいと思えます。新人ですが多くに活躍したいので、どうぞよろしくお願ひします。



## 新入会員のご紹介

┌ 太田 千恵・┌ 藤村みつの

┌ 太田 千恵

ライオンズクラブ会員の皆様、今回新規に会員となりました、太田千恵と申します。生まれも育ちも薩摩で生粋の薩摩おごじよです。主人に十九歳の時に見初められ二十三歳で結婚し、現在三人娘も結婚し三人の孫がおります。

主人は医師を生業としており医院を開業しその後、社会福祉法人を設立、特別養護老人ホームを作りこの私を施設長にと勝手に決め、施設長という職に抵抗する私に何が何でも施設長をしろと、まさに田川の川筋氣質と薩摩おごじよの激しい戦いの末、男子をたてる？私がいやらざるをえないと観念し、現在もう一つ施設を立ち上げ朝から定時まで週休二日で働いているわけです。貧乏暇なしというか、主人も私も二人で海外旅行に行くでもなく国内旅行もせいぜい

┌ 藤村みつの



【生年月日】昭和 11 年 7 月 22 日

【入会日】平成 20 年 7 月 15 日

【スポンサー】L. 山口 毅

【業 種】印刷業

【会 社】正光印刷株取締役  
〒810-0042 福岡市中央区赤坂 1-3-7  
TEL 092-741-3266  
FAX 092-741-2207

会社の繁栄を願ひ、会員の皆様のお世話になりながら楽しく会合に参加させて戴きたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

二泊三日または一泊二日程の近場に年二回程行ける位です。マア自分の家が一番落ち着くと口癖のようにお互い言いながら自分を納得させているのかも知れません。五年前に妹を失い一年前に母を失い、父を自分のグループホームで看ています。弟も兄弟げんかをしてながらも同じ事務所と一緒に仕事をしています。身内が一人一人と死に行く中で喧嘩をしながらでも親子兄弟がそばに居るといふのは有難いものだとこの頃思ひます。その他にも多くの職員に助けられ自分が居る事として自分が日々の中で気付かないうちに多くの方々に助けられて生きていることを最近思ったりします。流されず自分らしく残りの人生を生きていきたいと思っています。会合にも毎回出席することとは難しいと思ひますがよろしくお願ひいたします。

若杉福岡ライオンズクラブ

## 世界ライオンズ奉仕デー

2008~2009年幹事 L 藪内アヤ子

十月八日の「世界ライオンズ奉仕デー」に我がクラブは、粕屋町・駕与丁公園内にある「ライオンズの丘」にて樹木の剪定、周辺の清掃活動を行いました。

遡ること一九九〇年（平成二年）第四十五回国民体育大会が福岡県で開催されたことを祝って各県の県木苗木を篠栗町にて植樹。施肥等、八年間に亘って育んでまいりました後、クラブ結成二十五周年の記念事業として、駕与丁公園に「時計塔」一基「ライオンズの丘」と命名し、「とびうめ国体」の意義と奉仕の輪が広がることを願いました。あれから早十年が過ぎ、記念石碑には二十五周年の折この事業に尽力されたクラブの諸先輩方並びに当時ご協力頂いた、かすや南ライオンズクラブ会員の方のお名前が変わることなく、刻まれています。



雨靴、麦わら帽子でとても素敵でした。十月でも残暑厳しく、熱い汗を流しましたが、気持ちはさわやかで例会場へ移動し、昼食を取り例会を行いました。

この駕与丁公園には隣接する粕屋町総合体育館「かすやドーム」があり、プールも併設されていてスポーツ全般大変盛んです。公園自体も広大で、野鳥も舞いおりる綺麗な公園です。五月には「バラ祭り」、夏には「花火大会」、秋には「YOSAKOIかすや祭り」等色々なイベントが行われ粕屋町民のみならず、近隣からもたくさんの人達が訪れる憩いの場ですので、是非粕屋町にお越しの節はお立ち寄り頂き、「ライオンズの丘」もご覧下さい。一年一年木々の成長を楽しみにここでの奉仕作業を続けたいと思います。

クラブでも会長提言の「喜びの奉仕」の元、心温まるボランティア活動を頑張っているところです。私自身もまだまだ未熟ですので、勉強しなければなりません。「ウィ・サーブ」を基本にもっと頑張ります。よろしくお祈りします。

苗木だった県木も十八年の月日を過ぎ大きく茂っています。晴天の中、早朝よりライオンが集まり、枝を剪定し肥料を与え、綺麗に清掃し努力奉仕を終えました。皆さん普段は背広姿ですが、当日は作業服

壱岐ライオンズクラブ

## ライオンズクラブに入会して

L 松尾 輝幸

知人の紹介により壱岐ライオンズクラブに入会させて頂き、半年が過ぎようとしています。活動内容等もわからないままの入会でしたが、現在は皆さんに認めて頂けるよう頑張っております。仕事の関係でなかなか時間がとれず例会の欠席も多い為申し訳なく思っております。

しかし、奉仕活動等、参加するたびに新しい体験や、発見があり良い刺激となっております。ライオンズクラブの活動ではなかったのですが、ある福祉施設のパザーに行く機会があり、一通り見学してきました。体の不自由な方々が、一生懸命な姿を見ていると、自分にも何かお手伝いが出来るのではないかと考えた時、ふとライオンズクラブが頭をよぎりま

した。子供たちやお年寄りとのふれあいにより、お互いに元気をもたらえる活動ができると思ったのです。お年寄りから得られる古くからの知恵や、現代の子供たちへの接し方など、自分が得られる物も

大きいと思います。私も二人の子供の親として、何か伝えられることができるの良いなと考えております。

ライオンズクラブに入会してからまだ、半年しか経っていません、何もわからない状況ですが、なるべく行事に出席し、活動し、他の会員の方にも、助けていただきながら、自分なりの活動や挑戦もし、皆様に良い体験のご報告ができたらいいなと思っております。

今回、合同誌への投稿の機会を得まして、ライオンズクラブの活動内容や意味、地域社会や家族との接し方など、改めて考えさせられました。今後、私がどれだけ皆様にご奉仕できるかはわかりませんが、少しでもお役に立てればと思っております。

クラブでも会長提言の「喜びの奉仕」の元、心温まるボランティア活動を頑張っているところです。私自身もまだまだ未熟ですので、勉強しなければなりません。「ウィ・サーブ」を基本にもっと頑張ります。よろしくお祈りします。

## 「花鶴福岡ライオンズクラブに入会して」

「姉川さつき」

推薦をいただきまして「花鶴福

岡ライオンズクラブ」に入会し、早くも一年近くが経とうとしています。不勉強にも、何もわからないままの入会でしたが、幸い同日の入会者が三人おりましたので、心強かったこともありましたが、なにより会員の皆さんが

何事にも真剣に、しかも楽しく取り組まれる姿に、日々学ばせていただいたいております。

わずかな期間の中ではありますが、参加させて貰い、心に残った行事を述べますと、青少年の育成に寄与する「ライオンズ旗争奪少年剣道大会」「少年の



船」への協力。障がい者支援としてチャリティゴルフ大会を開催し、大勢の方のご参加のおかげで、「いずみ病棟」「粕屋新光園」「古賀養護学校」に、ささやかな活動支援をさせていたいただくことができたこと。また、地域においては古賀市の「十

万本ふるさとの森づくり」事業に参加し、本格的な植林に汗を流し、

その後皆さんと食べた豚汁のおいしかったこと。医療現場では、毎日新鮮な血液が必要ですが、少子化と共に近年献血量が減り、問題となっている「献血活動」は三度

開催。また、メンバーがホストファミリーとして受け入れた、夏期YE来日生を、皆で歓迎したことも楽しかった思い出です。

お陰さまで、私自身の生活も、ライオンズクラブに入会して以来、有意義な行事に参加することで、大変充実したものとなりました。

今後、社交機関や慈善団体ではなく、We Serve「われわれは奉仕する」との、先人が築いてこられた、ライオンズの純然なる社会奉仕の精神を理解し、広げていきたいと思えます。今後ともよろしくお願いたします。



## 宗像ライオンズクラブ たくさんの人との出会い

08 YCE 夏期派遣生 水田 好美

私は、七月二十八日から八月二十五日までの約一ヶ月間、ニュージーランドに派遣させて頂きました。その間の二週間をネイピア、一週間をラカイア、残りの一週間はアッシュバートンという所で世話になりました。私にとってNZLでの生活は毎日がexcitingで、どこにいても初めての事だらけでした。

例えば、アッシュバートンの高校を見学に行った時のことでした。この学校にはインターナショナルのクラスがあつて、アジア系はもちろんのこと、ドイツ・フランス・スウェーデン・カナダ・アメリカなど多くの国の子が集まっています。NZLの学校は朝の九時に始まり、三時頃終わるそうです。私はインターナショナルのクラスで、「私は朝七時三十分が始まって十六時頃終わる。」というと皆驚いていましたが、中国の子は「私の所なんて朝八時に始まって終わるのは夜の九時過ぎよ。」と教えてくれました。このようにただなんとなく

く行った学校で異文化交流ができたり、何が起るか分からない日々でした。でも、何が起るか分からないところがNZLならではかなと思いました。ホストファミリーは本当に優しく毎日色々な所に連れて行ってくれました。

その中で深く心に残っているのが小学校です。ママが小学校で司書をしていたので私が自ら「小学校を見学したい。」と言って案内してもらいました。その小学校も様々な国の子供達がいました。皆人なつこく、日本語で挨拶してくれてすごく嬉しかったです。しかし、教室に入ってみると毛皮のコートを着て授業を受けている子もいれば、薄汚れて穴の開いた服を着ている子もいました。私は戸惑いと共に悲しくなりました。これは日本ではありえないことです。後々ママが「貧乏な子もいるのよ。それは穴の開いた服を着ている子供達よ。」と教えてくれました。

私はこのように日本には無いものを受け入れていく度に自分の世



界観が大きく変わって行きました。また将来の目標も変わりました。私は空港で働きたいと思っていました。これを機に穴の開いた服を着ている子供達を助けたいと思いはじめました。

私は本当にNZLに行つてよかったです。自分自身大きく成長できたと思います。ご協力下さった宗像ライオンズクラブの皆様、そしてこのYCE事業に深く感謝しています。ありがとうございます。



**Q11** あなたはライオンズ対談に参加を希望しますか? 強く希望される方はクラブ名と氏名をご記入ください。

はい ■ 5.34% (17名)  
 どちらともつかない ■ 24.21% (77名)  
 いいえ ■ 55.97% (178名)  
 無回答 ■ 14.46% (46名) 合計318名

【特に強く希望する】

L.鳥谷哲弘(福岡NOZLC)、L.淵上一良(福岡NOZLC)、  
 L.青山義雄(福岡舞鶴LC)  
 その他11名のライオン氏名を確認済み。今後テーマを決めて実現したいと思います。

**Q12** あなたの周りに次代のライオンズの担い手として推薦したい人材はいますか?

はい ■ 18.86% (60名)  
 どちらともつかない ■ 45.28% (144名)  
 いいえ ■ 31.13% (99名)  
 無回答 ■ 4.71% (15名) 合計318名

**Q13** さしつかえなければその方の氏名及びクラブ名を記入してください(複数回答可)

具体的に氏名を記入されたのは18名。その内複数の会員より推薦されたのは下記の10名(入会順)でした。

L.鳥谷哲弘(福岡NOZLC) L.重松史郎(福岡玄海LC)  
 L.松井和子(福岡花LC) L.黒木善弘(福岡玄海LC)  
 L.西川ともゑ(福岡桜LC) L.辛島幸司(福岡赤坂LC)  
 L.徳永修一郎(福岡大名LC) L.樋本健二(福岡大名LC)  
 L.外尾信一(福岡大名LC) L.奥村剛広(福岡NOZLC)

さらに複数のクラブ会員より推薦されたのは上記の内の2名に上りました。本設問の趣旨は次代を担うリーダーと目されるライオンが、どの位各クラブに存在するのか知りたかった為です。機会があれば『明日のライオンズを考える』対談で各自の持論を展開してもらいたいと思います。

**Q14** あなたは「法人会青年部」や「ロータリー青年部」のような、若い世代(入会歴が浅い会員も含む)による、地区内のクラブ間を横断した、次代の人材育成や教育、また懇親を深めながらも自由な意見交換ができる場(委員会の設置等)がライオンズクラブにも必要だと思いますか?

はい ■ 55.34% (176名)  
 どちらともつかない ■ 32.07% (102名)  
 いいえ ■ 10.06% (32名)  
 無回答 ■ 2.51% (8名) 合計318名

**Q15** 近い将来更なる会員減少が予想されますが、あなたは今後友人をクラブに招請しようと思えますか?

はい ■ 44.65% (142名)  
 どちらともつかない ■ 43.71% (139名)  
 いいえ ■ 10.69% (34名)  
 無回答 ■ 0.94% (3名) 合計318名

\*今回は本調査に対する様々なご意見が寄せられたので一部ご紹介いたします。次回のアンケートにはご意見記入欄を設けたいと思います。

- ◆ 本音を聞きたいアンケートは無記名にすべきだと思います
- ◆ 第1回目の回答率は駄目、現実を正しく見つめてスタートしなければいけない
- ◆ 老令で積極性が失われつつあるので失礼
- ◆ Q1 私が一番知っていると思う
- ◆ Q2 親しみが増えた
- ◆ Q2 脱皮への企画のご尽力に感謝
- ◆ Q2 文字が小さ過ぎる
- ◆ Q3 全部良かった
- ◆ Q5 熱いライオンが多く心配していません
- ◆ Q5 開かれたリジョンであるべき
- ◆ Q5 ミニクラブが多いからエクステンションは当分無い
- ◆ Q7 順風満帆です
- ◆ Q7 会員が楽しく集まる目的と事業計画
- ◆ Q7 簡素化すべき処を考えた方が良い
- ◆ Q7 キャビネット会議とリジョン会
- ◆ Q7 高齢化・ミニクラブ化防止
- ◆ Q7 古いやり方だから駄目
- ◆ Q8 こちらの話が通じるのならば
- ◆ Q10 考え方が古い
- ◆ Q10 その必要性は高い
- ◆ Q10 会員とのコミュニケーションが重要だと思う
- ◆ Q12・13 設問の趣旨がわからない
- ◆ Q14 他の団体の真似でなく
- ◆ Q14 必要とは言えないがあると嬉しい
- ◆ Q15 今のままでは駄目
- ◆ Q15 条件次第

※お誉めの言葉はありがとうございました。  
 ご批判に付きましては改善の努力をいたしますので宜しくお願いいたします。

**第2回アンケート回答実績**

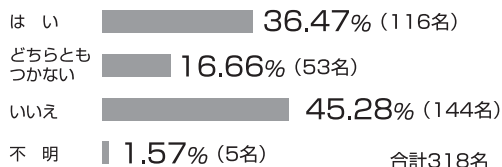
回答提出27クラブ、907名 有効回答 318名、回答率 35.06%  
 アンケート回収率が50%以上のクラブ

福岡博愛LC 66% 福岡シニアLC 56%  
 壱岐LC 62% 福岡文化LC 55%  
 福岡大名LC 58% 福岡玄海LC 50%

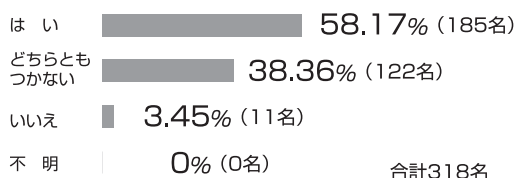
次回、1~2月に第3回目を実施いたしますので何卒ご協力お願いいたします。第3回の集計結果は春号に掲載いたします。

# 1,000名 アンケート 意識調査 結果報告

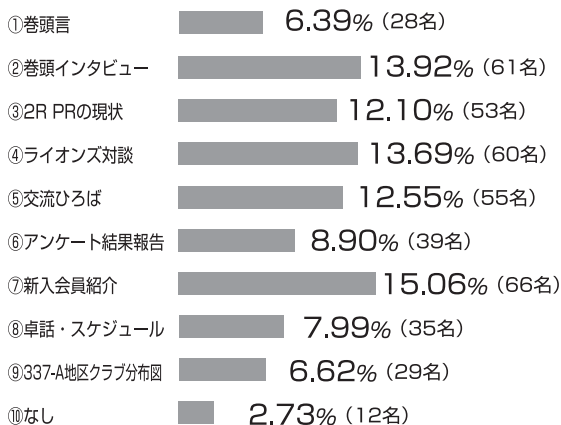
**Q1** あなたは故L.貝島義之や故L.村上薫がライオンズにどのような功績を残された方が知っていますか？



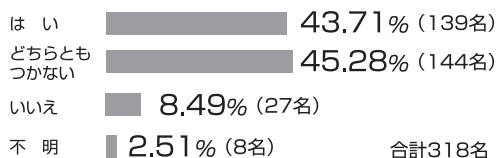
**Q2** 今回合同誌を大幅にリニューアルしましたが、リニューアルして良かったと思えますか？



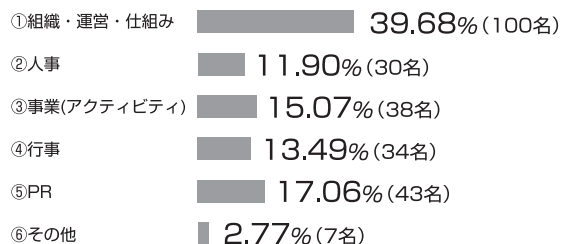
**Q3** 今回の合同誌で注目したコーナーがあれば下記より選択して番号を回答してください（複数回答可）



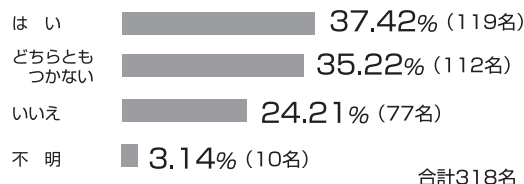
**Q4** あなたはリジョンや地区に変革の必要性を感じていますか？



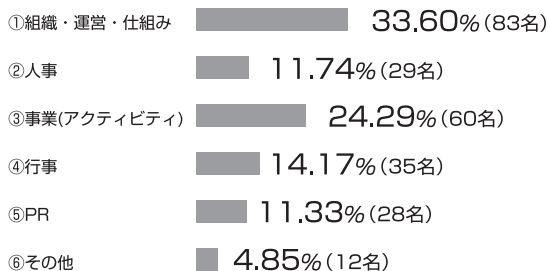
**Q5** 感じていると答えた方は具体的に何を変革すればよいかを下記より選択して番号を回答してください（複数回答可）



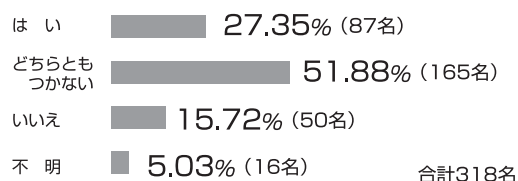
**Q6** あなたは所属するクラブに変革の必要性を感じていますか？



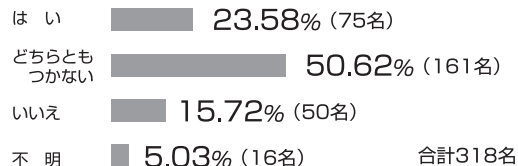
**Q7** 感じていると答えた方は具体的に何を変革すればよいかを下記より選択して番号を回答してください（複数可）



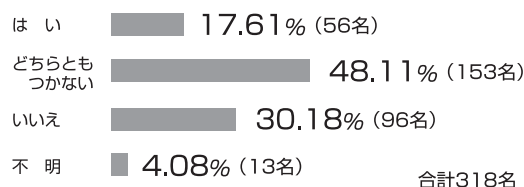
**Q8** あなたは年次大会分科会以外でも地区運営の重要事項を討議する場所が必要と思えますか？



**Q9** あなたは現状の地区運営で慣例化している任期一年・持ち回り制のキャビネットで地区の変革は可能だと思いますか？



**Q10** あなたはライオンズに関わる様々な問題について、ガバナーやキャビネット役員・委員や名誉顧問の方々と直接意見交換してみたいですか？



※詳細は各クラブ事務局まで  
お問い合わせ下さい。

金 FRIDAY

土 SATURDAY

2

3

9

10

筑紫少女苑 成人式/福岡桜  
「第4回 薬物乱用防止教室」  
(於:玄海小学校)/宗像

16

17

23

24

30

31

チャリティボウリング大会  
(於:博多スターレーン)/福岡筑前

CSFII支援チャリティコンサート  
(於:大名町カトリック教会)/福岡誠

6

7

13

14

結成記念例会  
(於:ソラリア西鉄ホテル)/福岡大名

20

21

27

28

6

7

筑紫少女苑 卒業式/福岡桜

13

14

20

21

27

28

## 卓話ゲスト紹介

### 9月

- 福岡西 卓話・題名 福岡文化の担い手たち  
ゲストスピーカー 福岡文化連盟 総務理事・事務局長 古賀透 様
- 福岡北 卓話・題名 「もし裁判員に選ばれたら」  
ゲストスピーカー 千綿俊一郎 様
- 福岡大濠 卓話・題名 「最近の話題について」  
ゲストスピーカー L.菅原道之
- 福岡桜 卓話・題名 経済の活性化のない所に町は興らない  
ゲストスピーカー はかた部ランド協議会 議長 上田啓蔵 様
- 福岡博愛 卓話・題名 「プロトンの日常生活への応用・自然回帰への効果」  
ゲストスピーカー プロトン啓蒙委員 高橋亜井子 様 津田明美 様
- 福岡舞鶴 卓話・題名 「明日のライオンズを考える」  
ゲストスピーカー 地区PR・IT・ザラタ編集委員 L.徳永修一郎
- 福岡花 卓話・題名 「カネミ油問題について」  
ゲストスピーカー カネミ油症原告団 植田敏子 様
- 福岡鶴城 卓話・題名 福岡の経年賃貸ビル最前線～生き残るビルの条件～  
ゲストスピーカー NPO法人 福岡ビルストック研究会 理事長 吉原勝己 様

### 10月

- 福岡大濠 卓話・題名 「中国の最新事情について」  
ゲストスピーカー 九州日中関係学会 会長 鹿毛隆郎 様
- 卓話・題名 「最新の九州経済状況と活用できる中小企業制作」  
ゲストスピーカー 九州経済産業局産業部中小企業課 課長 松田一也 様
- 福岡黒田 卓話・題名 「明治維新と福岡藩」  
ゲストスピーカー 霊山顕彰会福岡県支部 幹事 鹿毛義勝 様
- 福岡舞鶴 卓話・題名 「食糧は自給できるか」  
ゲストスピーカー L.早瀬憲太郎
- 福岡城東 卓話・題名 「福岡いのちの電話の活動について」  
ゲストスピーカー 福岡いのちの電話 理事長 林幹男 様
- 福岡シニア 卓話・題名 食育(脂質について)  
ゲストスピーカー L.武田敬子
- 福岡花 卓話・題名 「ライオンズについて」  
ゲストスピーカー 337-A地区名誉顧問 L.麻生好彦
- 福岡鶴城 卓話・題名 臓器移植の現状について  
ゲストスピーカー 日本臓器移植ネットワーク チーフ移植コーディネーター 塚本美保 様
- 卓話・題名 私の人生・そして歌  
ゲストスピーカー 山口音楽事務所 代表 太田区民オバ協議会 理事長 兼 常任指揮者 山口俊彦 様
- 福岡文化 卓話・題名 漫才  
ゲストスピーカー 福岡吉本所属 関サバ夫アジ平 様

### 11月

- 福岡西 卓話・題名 地域の中のライオンズとは！又はライオンズ生活で成すべき事とは！  
ゲストスピーカー 鳥栖ライオンズクラブ 会長 L.齊藤美代子
- 福岡北 卓話・題名 福岡文化の担い手たち  
ゲストスピーカー 福岡文化連盟 総務理事・事務局長 古賀透 様
- 福岡大濠 卓話・題名 情報化社会の光と影  
ゲストスピーカー 中村学園大学 学部長 L.財部忠夫
- 福岡NOZ 卓話・題名 地域で生活するとは  
ゲストスピーカー Joy倶楽部 施設長 伊東明子 様
- 福岡城東 卓話・題名 福岡ソフトバンクホークスについて  
ゲストスピーカー 福岡ソフトバンクホークス・ヘッドコーチ 森脇浩司 様
- 福岡誠 卓話・題名 ワインの楽しみ方  
ゲストスピーカー 4R・1Z・ZC L.加治接執
- 福岡シニア 卓話・題名 食の安全について  
ゲストスピーカー 食品衛生コンサルタント 西村雅宏 様
- 福岡花 卓話・題名 着物のT・P・O  
ゲストスピーカー 「服部和子きもの学院」学院長 服部和子 様
- 福岡フレンズ 卓話・題名 これからのライオンズム  
ゲストスピーカー 舞鶴LC L.小林明 様
- 福岡鶴城 卓話・題名 ヒューマンエラーと訓練装置  
ゲストスピーカー 元海上自衛隊航空隊司令 東裕一 様
- 卓話・題名 博多湾の将来  
ゲストスピーカー 福岡市港湾局港湾振興部長 藤本道雄 様
- 福岡大名 卓話・題名 民営化後のゆうちょ銀行の商品サービス改善について  
ゲストスピーカー ゆうちょ銀行 九州支社長 齊木幸雄 様
- 卓話・題名 マスメディアと市民生活  
ゲストスピーカー 元・毎日新聞社編集委員 福岡舞鶴LC L.橋山義博



# FUKUOKA 2R CLUB SCHEDULE

	日 SUNDAY	月 MONDAY	火 TUESDAY	水 WEDNESDAY	木 THURSDAY	
1 J A N U A R Y	2月予定 冬季街頭献血運動/福岡平和					1
			新年例会/福岡筑前 新春例会(於:三国屋)/福岡黒田	新年例会(於:西鉄グランドホテル) /福岡西 新年例会/福岡平和 新春5クラブ合同例会/2R・4Z	新年例会/福岡黎明 新年例会/福岡舞鶴	8
	4	5		7		
			新年例会/福岡桜 3クラブ合同新年例会 /福岡大樹・福岡鶴城・福岡ベイシティ21 新年例会(於:松幸)/福岡大濠	新年例会(於:稚加榮)/福岡赤坂		15
	11	12	13	14	15	
			卓話/福岡桜 新年例会/福岡花	新年例会/福岡平和	チャーターナイト記念例会 /福岡文化	22
18	19	20	21	22		
		新年例会/福岡フィフティー			29	
25	26	27	28	29		
2 F E B R U A R Y					献血奉仕活動(AM9:30~宇美町) /かすや南	
	1	2	3	4	5	
						12
	8	9	10	11	12	
	チャリティボウリング大会 (於:パビオボウル)/福岡城東		20周年チャーターナイト 記念例会/福岡桜	九州盲導犬協会・福岡少年の友の会 支援チャリティダンスパーティ (於:ホテルオークラ福岡)/福岡平和		19
	15	16	17	18	19	
		チャリティボウリング大会 (於:博多スターレーン)/福岡NOZ チャリティボウリング大会 (於:博多スターレーン)/福岡大濠			26	
22	23	24	25	26		
3 M A R C H					筑紫少女苑 植樹式/福岡桜	
	1	2	3	4	5	
						12
	8	9	10	11	12	
						19
	15	16	17	18	19	
			合同花見例会(於:アサヒビール園) /福岡西・福岡大濠・福岡NOZ		26	
22	23	24	25	26		
29	30	31				

# 新入会員紹介 [9月.10月.11月]

**福岡博愛LC**



**L 阿部美和子**  
あべみわこ (74)

H20.10.15入会  
スポンサー: L.金森 克己  
■自己PR

私は「ありがとう」の言葉に感謝した幸せな人生でした。これからは博愛ライオンズに入会出来た事を感謝して今日迄の幸せのお礼に少しでも還元出来ればと思っております。

**福岡大樹LC**



**L 尾方裕昭**  
おがたひろあき (39)

AIGエジソン生命保険(株)  
[保険業]  
H20.9. 入会  
スポンサー: L.北津留利光  
■自己PR

**福岡舞鶴LC**



**L 豊永将寛**  
とよながまさひろ (38)

社会保険労務士法人 豊永経営労務事務所  
[社会保険労務士業]  
H20.11.6入会  
スポンサー: L.倉光 浩和  
■自己PR

昭和48年、父の創業以来、人と人との信頼関係を構築して“人事・労務の分野で企業の発展に寄与したい”を基本理念に事務所のスタッフ共々精進の毎日です。

**福岡舞鶴LC**



**L 藤本知子**  
ふじもとともこ (59)

(株)ハッピーライフインベストメント  
[保険代理店]  
H20.9.27入会  
スポンサー: L.原 節子  
■自己PR

よろしくお願い致します。

**福岡誠LC**



**L 許斐英雄**  
このみひでお (59)

(株)メン・テック  
[建設業]  
H20.9.10入会  
スポンサー: L.石橋 幸吉  
■自己PR

諸先輩の方々にご指導とご教示を受け、奉仕活動を通じて社会勉強をさせていただきたく思います。よろしくお願ひいたします。

**福岡シニアLC**



**L 藤吉良**  
ふじよしりょう (27)

ウェブラボ  
[インターネットコンサルティング]  
H20.7.2入会  
スポンサー: L.谷藤 千鶴  
■自己PR

**福岡花LC**



**L 岩瀬満知子**  
いわせまちこ (53)

ヴィビューナム  
[フラスコスクール主宰]  
H20.10.21入会  
スポンサー: L.高津 英子  
■自己PR

福岡市南区でフラワーアレンジメントスクールを主宰。ウェディングブーケ、ギフトも数多く手掛けています。花の本にも多数の作品が掲載されています。

**福岡フィフティーLC**



**L 藤島啓三**  
ふじしまけいぞう (44)

粕屋製畳(有)  
[畳製造・販売]  
H20.10.28入会  
スポンサー: L.高島 昌信  
■自己PR

粕屋部の志免町(工場)で、畳の製造販売を行っております。唯一の趣味は船釣りです。どうぞよろしくお願ひ致します。

**福岡フレンズLC**



**L 岩永栄二**  
いわながえいじ (40)

岩永鮮魚仲卸(株)  
H20.10.26入会  
スポンサー: L.立花 嗣久  
■自己PR

**福岡フレンズLC**



**L 金昶泰**  
きみやんてい (46)

(株)健和商事  
[貿易業]  
H20.10.26入会  
スポンサー: L.立花 嗣久  
■自己PR


**福岡大名LC**



**L 田代哲太郎**  
たしろてつたろう (32)

(有)大櫛石油店  
[ガソリンスタンド]  
H20.10.1入会  
スポンサー: L.有田 泰志  
■自己PR

**福岡ベシィティ21LC**



**L 太田千恵**  
おおたちえ (59)

特別養護老人ホーム マイナスハウス  
[施設長]  
H20.11.18入会  
スポンサー: L.濱口ひろ子  
■自己PR

私は介護福祉施設の施設長をしています。職員は前原と福岡合わせて150人程です。20歳から70歳の職員が働いていますが、高齢者の食事・排泄入浴のお世話から精神面でのケアと頭の下がる思いがします。特に便の始末等職員達が明るくお世話をしている事に対し理屈では無い人としての愛と奉仕の心、その優しさに感嘆しています。その職員達に支えられ施設長として自分が居る事に感謝しています。

**花鶴福岡LC**



**L 橘明美**  
たちばなあけみ (59)

橘興産  
[不動産業]  
H20.11.5入会  
スポンサー: L.真武 祐一  
■自己PR

しばらくお休みしていましたが、やはり、ライオンズが好きで入会しました。また奉仕活動にがんばりたいと思います。





前回の「秋号」が予想以上の反響を呼び、MD(複合地区)ガバナー協議会や地区キャビネットの首脳陣、また地区名誉顧問のお歴々を始め、様々な方々にお手紙やお電話も含めて激励のお言葉を賜りました事は委員会一同勇気付けられる事であり、皆様方には改めて感謝申し上げます。

今回の目玉はL.秦三郎とL.瀧榮司の両名誉顧問対談であり、リジョン誌初の試みであろう別冊特別付録であります。両名誉顧問対談は正にお正月映画の“三船敏郎と勝新太郎”はたまた“萬屋錦之介と石原裕次郎”の共演とも言ふべきビックイベントであり、最後に

両雄の握手で締めくくられた意義ある対談であったと思っています。これを機に2Rが地区に於ける変革の中心となり、ライオンズの活性化に繋がる契機になればと思います。この対談の実現にご尽力頂きました重松ZCと一坊寺PR委員長(共に福岡玄海LC)には大変お世話になりました。また別冊特別付録の「平成の2R国際・日本・複合・準地区役員/委員総覧」については発行の目的を是非ご一読頂きたいと思ひます。

真に不躰(不謹慎)ながら(私見ですが)現在のライオンズに於ける最大の脅威は会員各位の『無関心さ』にあるのではないかとと思っています。この栄光と

歴史ある素晴らしいライオンイズムから遠ざかりつつある会員諸士が、組織の『変革』に共に手を携えて、新たな第一歩を踏み出す事が出来るような“きっかけ”に本誌がなれば幸いであります。

最後に謝辞を述べさせていただきますが、前回同様各クラブのPR委員長の方々と合同事務局の職員の方々に厚く御礼を申し上げたいと思ひます。又、毎回絶大な信任と徹夜でご協力を頂いた福岡舞鶴LCの橋山義博PR委員長にも重ねて感謝を捧げます。皆さんありがとうございました。

2R・3Z 福岡大名ライオンズクラブ  
PR・IT・ザラタ編集委員 L.徳永修一郎

発行／2R・PR委員会 TEL 092-771-5783 FAX 092-771-9676  
〒810-0001 福岡市中央区天神 3-15-24 三天第一ビル 3F(ライオンズクラブ 2R合同事務局)

印刷／末松印刷株式会社 TEL 092-411-6131 FAX 092-411-6134 E-mail s-pri.co@ymt.bbiq.jp  
〒812-0892 福岡市博多区東那珂2-4-36

## 生バンド演奏でショーを見て 踊って歌って

ショークラブ  
**じゅらく** 福岡市博多区中洲4丁目6-10 大洋ビル3F  
TEL 092-271-3333

カラオケパブ  
**ホース** 福岡市博多区中洲4丁目6-10 大洋ビル4F  
TEL 092-262-2449

築島弘子(福岡大濠ライオンズクラブ)

## 田中税理士事務所

税理士 田中 雅美 (福岡黒田LC)

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴3丁目2番5号(アイビル4階)

TEL (092)712-4799 FAX (092)771-3719

E-mail mztanaka@io.ocn.ne.jp



ドナコーポレーションは全国80店舗の不動産売買ネットワーク【イエステーション】加盟店です



お困りの貴方をカバーします



賃貸仲介・売買仲介・管理・企画立案・リフォーム

株式会社 ドナ コーポレーション

〒810-0041

福岡市中央区大名2丁目10-1 シャンポール大名A-408

TEL:092-734-0100 FAX:092-734-0200

HP: http://www.donna.co.jp Mail: info@donna.co.jp

福岡桜ライオンズクラブ L.伊藤 敦子

## 保険で安心と未来を科学する

RT. GROUP

生命保険・損害保険総合保険代理店



**Risk Tec Inc.**  
INSURANCE AGENCY

株式会社 リスクテック

福岡市中央区草香江1-2-19

TEL 092-737-6881 FAX 092-737-6882

ホームページ <http://www.risktec.jp>

代表取締役 飛永 真言 (福岡NOZLC)

AIU・東京海上・日本興亜・大同生命・アリコジャパンその他多数取扱

**Aflac** アフラック  
(アメリカンファミリー生命保険会社)

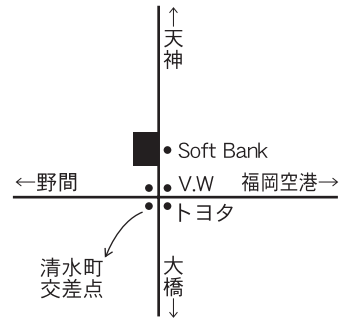
募集代理店 (株)アンシン商会

金森克己(福岡博愛LC)

〒815-0037 福岡市南区玉川町1-22

TEL 092-512-2020(代) FAX 092-512-1486

☎0120-5432-99



## 福岡大樹ライオンズクラブからお礼

### 第一回チャリティーボウリング大会

100名の方々にお越しいただき、大変盛大な大会となりました。参加された皆様、運営にご協力いただいた方々、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

福岡大樹LC 会長 L.和田泰子



<http://lions337a.comlog.jp/taiju/>



**INTERWELL CORPORATION**

オリエンタルウッドのパイオニア  
企画・製造・輸入

フローリング・ドア・住宅用木製品  
木材保存処理・防虫・防腐剤・販売・施工

株式会社 インターウェル

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前4-25-14

ヒロビル1F

TEL:092-411-8355

FAX:092-411-8354

代表取締役 岩本啓太 (福岡舞鶴LC)



快適生活をサポートする

私達は自然との調和を考えた環境にやさしい商品サービスを提供する快適生活支援業です。

<http://www.rental-maruya.com>

株式会社 丸屋

代表取締役社長 原 康一 (福岡城東LC)

福岡支店 福岡県春日市昇町3丁目164番地  
TEL(092)584-1911 FAX(092)584-1915

リース事業部 (寝具レンタル&リース・ふとん丸洗い)  
福祉用具貸与事業部 (福祉用具レンタル・福祉用具販売)  
アクアクララ事業部 (ミネラルウォーター販売・宅配)  
ハウスクリーニング事業 (おそうじ本舗)

ディスカウント・チケット  
**T.F. チケットふくおか**

新木 猛 (福岡玄海LC)

博多駅前店 TEL:452-4100  
 博多駅東店 TEL:481-2911  
 博多駅地下街店 TEL:433-7211

天神ビル店 TEL:739-7211  
 天神中央店 TEL:738-7211  
 赤坂店 TEL:737-7211

天神南店 TEL:752-7211  
 渡辺通店 TEL:726-5400  
 小倉駅前店 TEL:(093)512-7200

JBL.ALTEC...高級オーディオ修理・販売なら...  
**PROSHOP A&P Co.,Ltd.**

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2丁目1番29号  
 Tel 092-716-0002 Fax 092-781-2800  
 AM9-PM6

<http://www.audio-1.com/>

[ceo@audio-1.com](mailto:ceo@audio-1.com)

CASA-Della-MUSICA  
 要予約制です。

福岡誠ライオンズクラブ L.亀岡正茂



環境にやさしい クリーンエネルギー LPガス

リコーグループ・三菱石油(株)代理店  
 西部ガス簡易内管施工登録店

**セブンガス株式会社**

代表取締役会長 大塚 正 (福岡玄海LC)  
 大塚 京子 (福岡シニアLC)

〒814-0032 福岡市早良区小田部2-3-26 TEL(092)841-1144 FAX(092)841-1145



天然温泉水を原料とした健康ミネラルウォーターを毎日飲んでみませんか?



おいしい水の宅配便 有限会社花立花

〒811-0103 福岡県糟屋郡新宮町花立花4-1-1

0120-032-887

TEL:(092)941-2221 FAX:(092)941-5559

E-mail:onsensui@onsensui.co.jp

HP:www.onsensui.co.jp

代表取締役 古賀カツ子 (福岡花LC)

企画立案から納品までお任せください!

- ・デザイン制作 ・広告企画制作
- ・会社案内ダイレクトメール
- ・インターネットホームページ企画制作
- ・パッケージ・ディスプレイPOP

点字印刷のご用命もお任せ下さい!



株式会社

**円象**

えんぞう

TEL **092-211-2060**

〒811-1323 福岡市南区弥永4-24-20-402  
 電子メール:bbq243@jcom.home.ne.jp

地デジのことなら!

アンテナ 通信工事

**TACT**

**株式会社 タクトサービス**

春日市大谷2丁目115 〒810-0831 TEL 092-585-7700 FAX 092-585-7727



「LIONSのLは気前の良さ。自己の技能、時間、エネルギーについての気前の良さで、ライオンズはそれを求めている。

Iは理想。我々は理想主義者でなくてはならない。

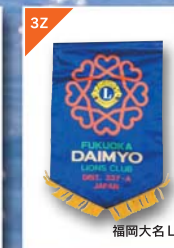
Oは機会。無私の奉仕の機会。

Nは怠惰への警鐘。

Sは奉仕によって心に湧き上がる充実感である」

\* 1955年5月21日神戸オリエンタルホテルで開催された、302地区第一回年次大会におけるJ・L・スティックレー国際協会第二副会長のゲストスピーチ

## 2008-2009 337-A 2R



\* パナー作成クラブのみ掲載しております。